
令和3年（2021年）版

事業概要



公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

目 次

I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目 的	1
2 事 業	1
3 沿 革	1

II 組 織

1 組織図	7
2 役員・評議員	7
3 職員	8

III 施 設

IV 令和3年度事業計画

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）	10
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）	11
3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）	11
4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）	11
5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）	13
6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）	14
7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	14
8 将来構想検討委員会（仮称）の設置	14

V 令和3年度予算

VI 令和2年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断	16
ア 被爆者一般・精密検査の実施	16
イ 令和2年度被爆者一般・精密検査実施状況	18
ウ 被爆者がん検診等の実施	23
エ 令和元年度被爆者がん検診等実施状況	25
オ 原爆被爆二世健康診断の実施	33
カ 健康管理の推進	33
キ 健康診断医療機器等の整備	33
ク 被爆者健康管理資料の整備	34
ケ 黒い雨体験者相談・支援事業の補助	34
(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等	
ア 健康診査等の実施	35

イ	令和2年度健康診査実施状況	36
ウ	令和元年度がん検診等実施状況	37
エ	健康管理資料の整備	45
(3)	当センターで発見した悪性新生物症例	46
2	被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1)	調査研究の継続実施	48
(2)	文献の収集	48
(3)	原子爆弾後障害研究会の開催	48
3	被爆者の援護福祉事業	
(1)	被爆者相談	49
(2)	被爆者の援護措置	49
4	健康教育事業	50
5	検査診療及び人間ドック健診等の収益事業	51
6	その他目的達成に必要な事業	52
7	令和2年研究業績	53

Ⅶ 資 料

1	年度別被爆者数（広島市及び広島県）	55
2	年賀寄附金配分金による実施事業	56
3	日本自転車振興会補助金による実施事業	57
4	車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	57
5	広島県補助金による実施事業	58
6	広島市補助金による実施事業	59
7	日本高等学校教職員組合等からの寄付金	60
8	全国から寄せられた寄付金	62
9	核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品	66
10	日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	67
11	職員	68

I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目的

この法人は、原爆障害の研究及び原爆被爆者の健康管理の対策並びに原爆被爆者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

2 事業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆被爆者の障害及び健康管理に関する研究
- (3) 原爆被爆者の生活・健康・医療に関する相談及び原爆被爆者に対する援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの運営管理
- (5) 原爆被爆者の健康診断及び住民の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

3 沿革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始、昭和 31 年 4 月には「財団法人広島原爆障害対策協議会」に改組し、被爆者の健康診断、健康管理に関する調査研究、援護に取り組んできた。

平成元年 9 月、「広島市総合健康センター」への移転後は、一般市民を対象とする健康診査や健康増進事業、健康教育事業を加え、被爆者をはじめ全ての市民の健康の維持・増進、被爆者の福祉向上のために各種事業を実施している。平成 24 年 4 月には、広島県知事から公益財団法人として認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行した。

昭和 28 年 1 月	「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置
昭和 29 年 1 月	被爆者の合同診察を開始
2 月	原爆障害者の実態調査を実施
10 月	事務局を広島市民病院内に移設
昭和 30 年 5 月	原爆乙女 25 名の渡米治療に協力
昭和 31 年 4 月	「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可
9 月	原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設
昭和 32 年 9 月	第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞
昭和 33 年 2 月	原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始
11 月	お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定

昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 36 年 4 月	「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成
5 月	「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設
6 月	第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始
8 月	『広島原爆医療史』を発刊
昭和 38 年 10 月	「広島原爆被爆者健康管理所」を開設
11 月	第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 39 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成
9 月	オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃集団検診を開始
昭和 40 年 10 月	第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊
昭和 42 年 5 月	精密健康診断車(ひかり号)を購入
6 月	日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
昭和 43 年 7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成
10 月	第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
11 月	自動分析機(オートアナライザー)を設置
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成
3 月	テレビジョン X 線カメラを設置
8 月	勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊
昭和 45 年 4 月	子宮がん検診を開始
5 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成
6 月	第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 46 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成
6 月	第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
昭和 47 年 5 月	全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
昭和 48 年 4 月	広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成
6 月	第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
昭和 49 年 5 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入
7 月	広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成
12 月	肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
昭和 50 年 4 月	勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始
6 月	第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 51 年 6 月	胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
昭和 52 年 6 月	第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X線装置を更新整備
8 月	勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始
昭和 54 年 4 月	被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6 月	第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 55 年 2 月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8 月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和 56 年 5 月	第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催
10 月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修その他工事完成
昭和 57 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入
昭和 58 年 6 月	第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 59 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
昭和 60 年 6 月	第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車庫上屋根新設工事等完成
昭和 61 年 7 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X線テレビ装置更新整備
昭和 62 年 3 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X線装置更新整備
4 月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6 月	第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 63 年 8 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X線透視撮影台及び CR 用光ディスク画像ファイル装置を設置
8 月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性骨髄腫)を開始
平成元年 3 月	自動血球計算装置(コルターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、光ディスク画像ファイル装置を設置
6 月	第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成 2 年 4 月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診断の出張健診及び老人保健法・被爆者の出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)を開始

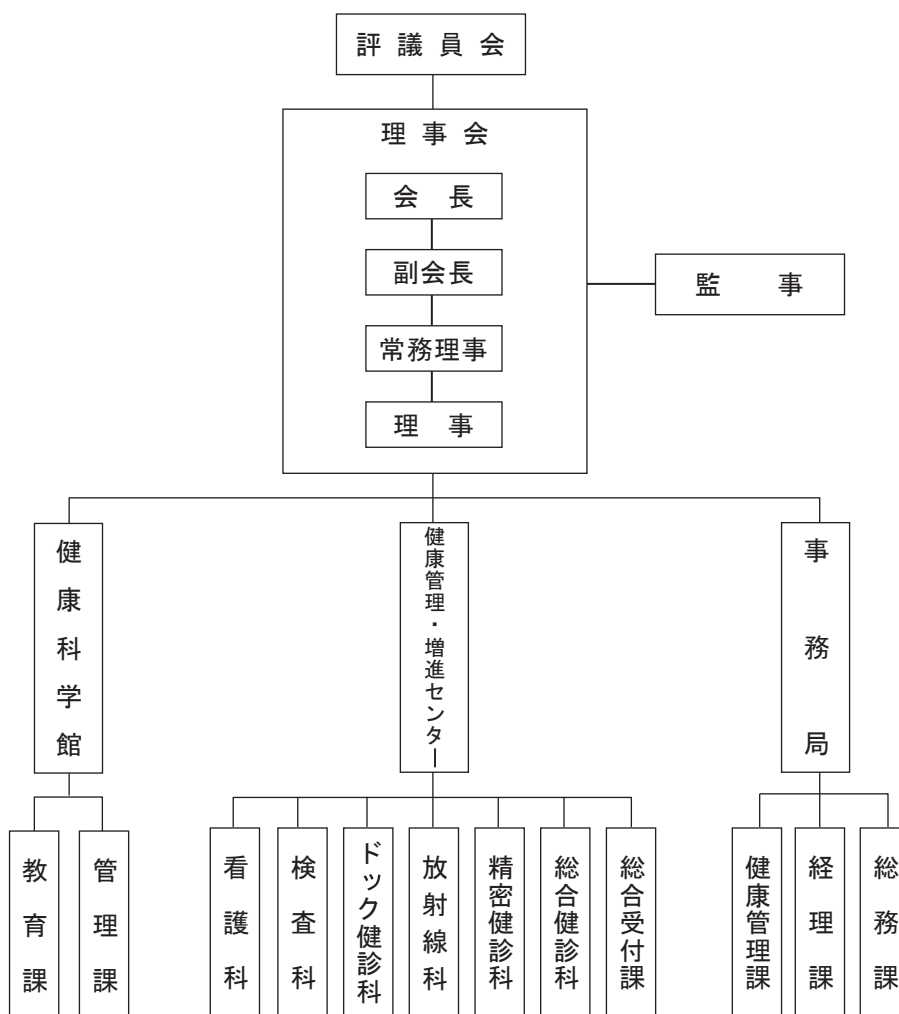
-
- 8月 磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
- 平成3年3月 夜間健診を中止
- 4月 被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)
- 6月 第32回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8月 X線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
- 平成4年4月 被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始
- 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
- 8月 自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
- 10月 国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
- 11月 老人保健法による大腸がん検診を開始
- 平成5年4月 被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
- 6月 第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8月 胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
- 平成6年4月 事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。
- 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
- 9月 自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
- 平成7年4月 被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
- 5月 原爆被爆50周年記念特別講演会を開催
- 第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 6月 内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
- 8月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
- 10月 市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
- 平成8年4月 老人保健法による肺がん出張検診を開始
- 7月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
- 8月 既設MRI装置をバージョンアップ
- 平成9年4月 市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
- 6月 第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7月 X線骨密度測定装置を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
- 平成10年8月 糖尿病予防対策事業を開始
- 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成
- コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備
- 10月 C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
- 平成11年6月 第40回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 9月 DRシステムX線テレビ装置を整備
- 平成12年9月 超音波診断装置を更新整備
- 平成13年1月 MRI装置を更新整備
- 6月 第42回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 平成14年3月 デジタル超音波診断装置を更新整備
- 7月 自動血球計算装置を更新整備
- 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成
-

-
- 平成 15 年 4 月 市民の C 型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)に B 型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
- 6 月 第 44 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7 月 内視鏡検査システムを更新整備
- 平成 16 年 1 月 乳房 X 線撮影装置を更新整備
- CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
- 4 月 第二次 CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備
- 8 月 全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
- 平成 17 年 6 月 第 46 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 8 月 総合健診電算システムを更新整備
- 12 月 乳房 X 線撮影装置を整備
- 12 月 医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
- 平成 18 年 3 月 職業補導事業を廃止
- 4 月 マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始
- 老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
- 9 月 デジタル X 線透視撮影装置更新整備
- 10 月 被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
- 12 月 全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1 号車)
- 平成 19 年 1 月 X 線骨密度測定装置更新整備
- 6 月 第 48 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 7 月 X 線 CT 撮影装置整備
- 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
- 平成 20 年 5 月 特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
- 8 月 超音波診断装置更新整備
- 11 月 MRI 装置のアップグレード整備
- 平成 21 年 2 月 医用画像情報システム更新整備
- 3 月 デジタル胃集検 X 線透視撮影装置更新整備
- 4 月 日曜健診(第 1・第 3 日曜日)を午前のみの実施とし、第 3 日曜日に胃がん・肺がん検診を開始
- 6 月 第 50 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 10 月 女性特有のがん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
- 平成 22 年 1 月 医用画像情報システムビューワー更新整備
- 4 月 社会保険加入者の被扶養者の出張特定健康診査を開始
- 9 月 超音波画像診断装置更新整備
- 全自動電気泳動装置更新整備
- 平成 23 年 3 月 FPD デジタル X 線透視撮影装置更新整備
- 4 月 日曜健診(第 3 日曜日)で乳がん・子宮がん検診を開始
- 6 月 第 52 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 9 月 広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念式典を開催
- 11 月 働く世代への大腸がん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
- 12 月 広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念パネル展を開催
-

平成 24 年 3 月	広島市健康づくりセンター 1 階（乳がん・子宮がん検診エリア等）改修工事完成
3 月	超音波画像診断装置更新整備
4 月	広島県知事の認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行
4 月	土曜健診を第 2・第 4・第 5 土曜日 のみ の実施に変更し、全ての土日健診（第 2・第 4・第 5 土曜日及び第 1・第 3 日曜日）で胃がん・肺がん検診を開始
平成 25 年 3 月	電子内視鏡ビデオ情報システム更新整備 CR 画像制御装置更新整備
4 月	被爆者一般健診会場において肺がん検診の同時実施を開始 人間ドック等健診業務を開始（広島市医師会臨床検査センターから移管）
6 月	第 54 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	電子内視鏡システム更新整備
12 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を廃止
平成 26 年 2 月	医用画像情報システム更新整備
5 月	広島市健康づくりセンター 1 階（総合受付・一般健診エリア）改修工事
9 月	生理検査波形システム更新整備
12 月	内視鏡情報管理システム更新整備
平成 27 年 2 月	新総合健診システム稼働
3 月	健康増進事業終了
5 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
6 月	第 56 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	乳房用 X 線撮影装置更新整備
平成 28 年 2 月	働く世代への大腸がん検診（無料クーポン券）の終了（広島市委託事業）
7 月	内視鏡による被爆者胃がん検診を開始
8 月	自動血球計算装置更新整備
9 月	健診業務 LAN と情報処理系 LAN を分離したシステム構築
平成 29 年 4 月	内視鏡による市民胃がん検診を開始
6 月	第 58 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
平成 30 年 4 月	出張健診会場において市民の骨粗鬆症検診を開始（広島市委託事業）
8 月	CT 撮影装置更新整備
10 月	超音波画像診断装置更新整備
平成 31 年 4 月	MRI 装置更新整備 特定健康診査及び市民の出張大腸がん検診を安芸区で開始
令和元年 6 月	第 60 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
令和 2 年 4 月	土曜健診を第 2・第 4 土曜日に実施（第 5 土曜日は中止）
9 月	超音波画像診断装置更新整備
令和 3 年 1 月	医用画像情報システム等更新整備

II 組 織

1 組 織 図



2 役 員・評 議 員

公益財団法人広島原爆障害対策協議会 役員名簿

(令和3年6月24日現在)

役 職	氏 名	職 名
会 長	松 村 誠	広島県医師会長
副 会 長	長 崎 孝 太 郎	医療法人厚生堂長崎病院理事長
副 会 長	佐 々 木 博	広島市医師会長
常務理事	沢 近 紀 夫	沢近医院長
常務理事	横 山 行 男	医療法人横山内科医院長
常務理事	和 田 厚 志	広島原爆障害対策協議会事務局長
理 事	服 部 登	広島大学大学院医系科学研究科分子内科学教授
理 事	河 野 一 二	広島市健康福祉局原爆被害対策部長
理 事	三 森 倫	広島市健康福祉局保健部長
理 事	二 井 秀 樹	広島県健康福祉局被爆者支援課長
監 事	吉 原 靖 樹	一般財団法人広島市都市整備公社監事
監 事	福 原 千 史	福原リハビリテーション整形外科・内科医院長

氏名	職名
板本敏行	県立広島病院長
泉水直	日本赤十字社広島県支部事務局長
大久保雅通	内科・糖尿病 久安医院長（広島市内科医会）
大東和政仁	広島原爆被爆者援護事業団理事長
木内良明	広島大学病院長
木下栄作	広島県健康福祉局長
熊谷宏	広島市歯科医師会長
阪谷幸春	広島市健康福祉局保健医療担当局長
佐藤修治	広島市医師会副会長
田代聡	広島大学原爆放射線医科学研究所長
豊見雅文	広島県薬剤師会長
秀道広	広島市民病院長
古川善也	広島赤十字・原爆病院長
山田春男	広島市議会議長

(50音順)

3 職員

(令和3年7月1日現在、単位：人)

事務局		健康管理・増進センター		健康科学館	
職種	人員	職種	人員	職種	人員
事務局長	1	所長	1	館長	1
事務職員	11(1)	副所長	1	事務職員	3<6>
検査技師	2	部長	1	栄養士嘱託	<1>
自動車運転手	3	常勤医師	3		
		非常勤医師	25		
		読影委員	34		
		看護師	12<3>(1)		
		検査技師	30(2)		
		放射線技師	8(2)		
		栄養士	2(1)		
		薬剤師	1		
		事務職員	12(3)<1>[6]		
小計	17(1)	小計	130(9)<4>[6]	小計	4<7>
				合計	151(10)<11>[6]

注1：（ ）は本会再雇用職員で別掲

注2：< >は嘱託職員で別掲

注3：[]は無期転換職員で別掲

Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本会の三者協力のもとに建設されたものであり、本会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
- 2 敷 地 9,622.67 m² (広島市 5,122.67 m²、広島市医師会 4,500.00 m²)
- 3 建 物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ 15,916.26 m²

利用区分	面 積
健康管理・増進センター専用	3,440.79 m ²
事 務 局 専 用	1,000.42
健 康 科 学 館 専 用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,741.20
広 島 市 医 師 会 専 用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合 計	15,916.26

- 4 事業費 約 90 億円 (広島市約 65 億円、広島市医師会約 25 億円)

IV 令和3年度事業計画

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理及び健康の維持増進に取り組んできており、例えば、被爆者健診では広島市全体の実施件数の3分の2（令和元年度63.8%）を本協議会が担っている。

しかし、被爆者の減少、高齢化、市民の健診ニーズの多様化、他の医療機関の健診機能の充実が進んでいる。

こうした環境の中、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いつつ、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」、「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)地域の医療機関との連携の下に行う「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」を着実に実施する。

また、5)本協議会が入居している広島市健康づくりセンターについて、広島市から指定管理者の指定を受け、同センターの管理、「健康教育事業・子育て支援事業」を行う。6)健診・検査業務の向上を図るため、老朽検査機器の更新等を行う。7)職員の資質の向上を図るため、行政や商工センター等が行う、マナーアップ、リーダー養成等各種研修に引き続き職員を積極的に参加させる。

8)人件費については、退職手当を平成29年度から段階的に最大3割引下げたほか、従来、国家公務員に準じてきた月例給のベースアップを5年連続見送った。令和3年度も引き続き中高年職員の定期昇給の抑制、可能な限り常勤職員の補充を抑制する。一方、職員のモチベーションアップに資するため、他の模範となるような勤務成績をあげた職員への顕彰等を引き続き行う。

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

（1）健康診断の実施

- ① 公民館等での巡回検診は、令和2年度より2会場減の延353会場で実施する。
- ② 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日にも各種検診を実施する。（ただし、4月及び8月の土曜日及び日曜日（4月第3日曜日は除く。）は行わない。）
- ③ 被爆二世健康診断は、広島市健康づくりセンター及び巡回検診会場において実施する。
- ④ 広島市健康づくりセンターの待合室等で、ポスターによるがん検診等の啓発を行う。
- ⑤ 巡回検診の日程等は、広島市の広報紙や本会HPで周知を図る。

<実施目標>	一般検査	11,000件	精密検査	11,000件
	胃がん検診（X線）	700件	胃がん検診（内視鏡）	590件
	肺がん検診	6,400件	乳がん検診	1,200件
	子宮がん検診	800件	大腸がん検診	4,400件
	多発性骨髄腫検診	7,700件	骨粗鬆症検診	2,800件
	被爆二世健康診断	2,010件		

（2）健康管理の推進

- ① 各種検診データを基に、広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、（公財）放射線影響研究所等の協力の下、悪性新生物の早期発見に努める。
- ② 糖尿病・動脈硬化症・高血圧・骨粗鬆症について、健診結果に基づき、必要に応じて保健指導、栄養指導を行う。

（3）健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化等に対応するため、X線骨密度測定装置、解析付心電計等の更新を行う。また、引き続き総合健診システムの更新を進める。（システム稼働は令和4年度）

(4) 被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を集計して統計資料を作成する。

また、本協議会が長年集積してきた膨大な健診結果等について、関係機関と協議のもと、取り扱いを検討する。

(5) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

広島県、広島市の黒い雨体験者に対する医師、臨床心理士、保健師による相談・支援事業に派遣する医師等の調整や相談記録のデータベース化等を行う。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）

(1) 調査研究の実施

被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、令和2年度以前に実施したものを引き続き研究する。研究成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文等を整理保管する。

(3) 第61回原子爆弾後障害研究会

令和3年度は広島市において、「第61回原子爆弾後障害研究会」がWeb開催されるので、広島市側の窓口として研究会開催を支援する。

3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）

(1) 被爆者相談の実施

被爆者の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、各種援護措置の説明等を行う。

(2) 援護措置の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて本協議会独自で次の援護を行う。

- ① 生活困窮者に対する援護金支給
- ② 被爆身体障害者等に対する見舞金支給
- ③ 福祉用具貸与・購入費利用補助
- ③ その他必要と認める経費の一部補助

4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）

(1) 高齢者医療確保法等に基づく特定健康診査等の実施

- ① 公民館等での巡回検診は令和2年度より延8会場増の延256会場で実施する。
- ② 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日にも各種検診を実施する。（ただし、4月及び8月の土曜日及び日曜日（4月第3日曜日を除く。）は行わない。）

- ③ 健診結果から生活習慣病のリスクが高く、特定保健指導を受ける必要があると判定された者については、結果説明に引き続き特定保健指導の受診を勧奨する。

<実施目標>

特定健康診査	13,080 件	(内、広島市国保 11,480 件)
特定保健指導	454 件	
後期高齢者健康診査	5,600 件	

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

- ① 公民館等での巡回検診は、令和2年度より延22会場増の延392会場で実施する。
(子宮・乳がん検診12増 胃がん検診10増)
- ② 5大がんと特定健診の同時実施を令和2年度より延11会場増の延65会場で実施する。
- ③ 休日の巡回検診を令和2年度より1会場減の延26会場(内17会場は②の5大がん等)で実施する。
- ④ 骨粗鬆症検診は、広島市健康づくりセンター及び延302会場の巡回検診で実施する。
- ⑤ 新たに夜間の巡回検診を延5会場で実施する。(肺がん・大腸がん・乳がん検診及び特定健診)
- ⑥ 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日にも各種検診を実施する。(ただし、4月及び8月の土曜日及び日曜日(4月第3日曜日を除く。)は行わない。)

<がん検診：実施目標>

胃がん検診(X線)	8,000 件	胃がん検診(内視鏡)	2,600 件
肺がん検診	20,000 件	大腸がん検診	17,000 件
乳がん検診	7,700 件※	子宮頸がん検診	6,600 件※

(※広島市の無料クーポン利用分を含む)

<その他検診：実施目標>

骨粗鬆症検診	4,000 件	肝炎ウイルス検査	2,580 件
--------	---------	----------	---------

- ⑦ 他の医療機関からの依頼に基づく、胃内視鏡検査の二重読影を行う。

(3) 感染症法に基づく結核健康診断(65才以上の肺がん検診との同時検査(13,400件)を含む。)の実施

<実施目標>

結核健康診断	13,420 件
--------	----------

(4) 健康管理資料の整備

受診者の健診資料(健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等)を整理・保管する。

5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）

広島市から指定管理者の指定を受け、広島市健康づくりセンターの維持管理及び健康教育事業並びに子育て支援事業を行う。

（1）健康教育事業

健康に関する最新情報を分かりやすく正確に提供するとともに、教育研修等を積極的に行い、日常における健康管理について正しい知識の普及を図る。

（目標）健康科学館年間利用者数 52,400人

- ① 健康科学展示施設の運営
 - ・ 企画展開催 年4回
 - ・ パネル展 年12回
- ② 健康ライブラリーの運営
 - ・ 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
 - ・ インターネットによる健康情報の提供
- ③ 健康に関する教育研修の実施
 - ・ 主催による研修会・イベント 年46回
- ④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成
 - ・ ボランティア養成講座（6課程） 年1回
 - ・ ボランティア育成講座 年2回
 - ・ ボランティアの活動 年430回

（2）子育て支援事業

① ファミリー・サポート・センター事業

会員同士の子育てに関する相互援助活動により、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図る。

② つどいの広場事業

子育て家庭の保護者と子どもが気軽につどい、あそびと育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の軽減や地域の子育て支援の充実を図る。

（目標）年間利用者数 20,600人

③ パパとママの育児教室の開催

夫婦が協力して子育てを行うため、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図る。

- ・ 開催回数 年34回

6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）

（1）検査診療事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に、確定診断等のための詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行う。

なお、治療が必要な場合には、外部医療機関等と連携して最善の方策を進める。

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（CT・MRI・超音波検査等）を行う。

（2）人間ドック健診等の事業

① 人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等及びその結果に基づく栄養指導、運動指導を行う。

また、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを行う。

＜実施目標＞

人間ドック健診	1,860 件
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,357 件
事業所健診	3,571 件
ストレスチェック	760 件
栄養サポート・運動サポート	196 件

② 管理栄養士・健康運動指導士が、健診結果等に基づき、受診者一人ひとりに適した栄養・運動について指導・助言を行う。

＜実施目標＞

健康サポート	63 件
--------	------

（3）軽度認知症等の早期発見の見地から、ものわすれチェックテスト等を行う。

＜実施目標＞

ものわすれチェックテスト（早期認知機能低下の早期発見）	80 件
ロコモチェック（運動機能低下の早期発見）	60 件

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

（1）放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した研修生の受入れ等、事業の推進に協力する。

（2）来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談など、在外被曝者への支援を行う。

8 将来構想検討委員会（仮称）の設置

令和5年1月の創立70周年に向け、今後の当会のあり方について検討する。

V 令和3年度予算

収 支 予 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合 計
	公益1 健康診断・ 調査研究事業	公益2 援護福祉事業	公益3 健康教育・ 子育て支援事業	共 通	小 計	人間ドック 健診等事業		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	1	0	0	0	1	0	0	1
特定資産運用益	260	0	0	0	260	65	420	745
事業収益	861,880	0	98,340	0	960,220	351,068	0	1,311,288
受取寄付金	0	1,655	0	0	1,655	0	0	1,655
雑収益	0	0	0	0	0	362	0	362
経常収益計	862,141	1,655	98,340	0	962,136	351,495	420	1,314,051
(2) 経常費用								
事業費	902,383	6,962	107,714	0	1,017,059	378,235		1,395,294
管理費							6,040	6,040
経常費用計	902,383	6,962	107,714	0	1,017,059	378,235	6,040	1,401,334
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 40,242	△ 5,307	△ 9,374	0	△ 54,923	△ 26,740	△ 5,620	△ 87,283
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 40,242	△ 5,307	△ 9,374	0	△ 54,923	△ 26,740	△ 5,620	△ 87,283
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	32	0	0	0	32	8	0	40
経常外費用計	32	0	0	0	32	8	0	40
当期経常外増減額	△ 32	0	0	0	△ 32	△ 8	0	△ 40
他会計振替前 当期一般正味財産増減額	△ 40,274	△ 5,307	△ 9,374	0	△ 54,955	△ 26,748	△ 5,620	△ 87,323
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前 当期一般正味財産増減額	△ 40,274	△ 5,307	△ 9,374	0	△ 54,955	△ 26,748	△ 5,620	△ 87,323
法人税、住民税及び事業税					0	0	71	71
当期一般正味財産増減額	△ 40,274	△ 5,307	△ 9,374	0	△ 54,955	△ 26,748	△ 5,691	△ 87,394
一般正味財産期首残高	846,651	△ 27,243	△ 35,883	837	784,362	239,613	△ 113,551	910,424
一般正味財産期末残高	806,377	△ 32,550	△ 45,257	837	729,407	212,865	△ 119,242	823,030
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	0	1,000	0	0	1,000	0	0	1,000
一般正味財産への振替額	0	△ 1,655	0	0	△ 1,655	0	0	△ 1,655
当期指定正味財産増減額	0	△ 655	0	0	△ 655	0	0	△ 655
指定正味財産期首残高	0	1,000	0	200	1,200	0	0	1,200
指定正味財産期末残高	0	345	0	200	545	0	0	545
III 正味財産期末残高	806,377	△ 32,205	△ 45,257	1,037	729,952	212,865	△ 119,242	823,575

VI 令和2年度事業実績

1 健康診断事業

(1) 被爆者健康診断

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。検査項目は下表のとおりである。

健診種別及び検査項目（令和2年度）

種 別	検 査 項 目
一般検査	問診等・CRP検査・血液一般検査・尿検査・血圧測定 ※医師が必要と認める場合、肝機能検査、ヘモグロビンA1c検査
精密検査	血液生化学検査・心電図検査・内臓の検査・運動器の検査等
がん検診	胃がん検診 問診・胃部X線撮影 又は 胃内視鏡検査
	肺がん検診 問診・胸部X線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診 問診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診 問診・視診、内診、細胞診（頸部）
	多発性骨髄腫検診 問診・血液検査（血清蛋白分画検査）
	大腸がん検診 問診・便潜血二日法
骨粗鬆症検診	問診・骨塩定量検査（DEXA法）

一般検査は、毎年、前期・後期の2回行う定期健康診断のほかに、年2回を限度として申請による健康診断が受診できる。一般検査の結果、必要があると認められた場合に、精密検査を実施する。また、申請による健康診断のうち1回をがん検診として受診できる。

ア 被爆者一般・精密検査の実施

被爆者一般検査・精密検査は、広島市健康づくりセンター及び市内の各集会所、公民館等を会場とする出張健診会場（2か所）の3会場で実施しており、そのために健康診断班を3班（1班約10名－医師を含む）編成している。

また、広島市健康づくりセンターで毎月第1・第3日曜日の日曜健診を実施（4月の第1日曜日、8月の日曜日は除く。）しているほか、年間9回日曜出張健診も実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況（人，％）

年度	一般検査		精密検査 実施件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ実施件数
	実施件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	104.5*	110,420
* 8	52,175	52,541	54,967*	104.6*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341
22	25,619	25,616	27,428*	107.1*	53,047
23	23,952	23,947	25,508*	106.5*	49,460
24	22,339	22,339	23,510*	105.2*	45,849
25	21,056	21,056	22,176*	105.3*	43,232
26	18,760	18,758	19,544*	104.2*	38,304
27	17,698	17,695	18,759*	106.0*	36,457
28	16,020	16,020	16,546*	103.3*	32,566
29	15,209	15,209	15,418*	101.4*	30,627
30	14,599	14,599	14,628*	100.2*	29,227
令和元	13,011	13,011	13,032*	100.2*	26,043
◎ 2	10,140	10,140	10,155*	100.1*	20,295

* 手帳更新年度

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ当所で実施した人数を含んでいるためである。

◎ 令和2年4月17日から令和2年5月31日の期間については、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ出張健診を中止したため、受診者数等が減少している。

イ 令和2年度被爆者一般・精密検査実施状況

令和2年度の一般検査の受診者数は10,140人、精密検査の受診者は10,155人であった。詳細は以下のとおりである。

(7) 一般検査

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間の当施設及び延308回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表2 a・bのとおり、男性4,674人、女性5,466人、計10,140人で、前年度との比較では2,871人の減少(男性1,231人、女性1,640人)である。年齢構成は、男性、女性とも70歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性80.6±5.1歳、女性80.9±5.4歳、全体では80.8±5.3歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は3,887人(38.3%)、出張健診会場は6,253人(61.7%)であり、前年度に比し、施設健診は999人の減少、出張健診は1,872人の減少である。

出張健診の区別の受診状況は表2 cに示すとおり、受診率は安芸区が14.1%と最も高く、ついで安佐北区12.0%、安佐南区及び佐伯区10.9%であり、全体では9.2%である。

表2 被爆者 一般検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		%		%		%
73～79	2,452	52.5	2,738	50.1	5,190	51.2
80～89	1,888	40.4	2,217	40.6	4,105	40.5
90～102	334	7.1	511	9.3	845	8.3
計	4,674	100.0	5,466	100.0	10,140	100.0

b 健診会場別実施状況

(単位：日、人)

区分	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比較増減(A)－(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	281	3,887	289	4,886	△ 8	△ 999
出張健診	308	6,253	385	8,125	△ 77	△ 1,872
計	589	10,140	674	13,011	△ 85	△ 2,871

c 出張健診区別実施状況

(単位：日、人、%)

区分	令和2年度(A)				令和元年度(B)				比較増減(A)－(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中区	20	6,951	454	6.5	22	7,752	564	7.3	△ 2	△ 801	△ 110
東区	43	8,186	678	8.3	51	9,096	875	9.6	△ 8	△ 910	△ 197
南区	38	9,366	730	7.8	55	11,713	957	8.2	△ 17	△ 2,347	△ 227
西区	46	12,801	844	6.6	56	15,363	1,109	7.2	△ 10	△ 2,562	△ 265
安佐南区	48	11,359	1,241	10.9	62	15,436	1,629	10.6	△ 14	△ 4,077	△ 388
安佐北区	42	7,329	879	12.0	60	11,130	1,360	12.2	△ 18	△ 3,801	△ 481
安芸区	21	3,658	517	14.1	26	3,872	597	15.4	△ 5	△ 214	△ 80
佐伯区	50	8,349	910	10.9	53	9,138	1,034	11.3	△ 3	△ 789	△ 124
計	308	67,999	6,253	9.2	385	83,500	8,125	9.7	△ 77	△ 15,501	△ 1,872

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

d 要精検率

(単位：人)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
73～79	2,452	2,452	100.00	2,738	2,738	100.00	5,190	5,190	100.00
80～89	1,888	1,888	100.00	2,217	2,217	100.00	4,105	4,105	100.00
90～102	334	334	100.00	511	511	100.00	845	845	100.00
計	4,674	4,674	100.00	5,466	5,466	100.00	10,140	10,140	100.00

(イ) 精密検査

令和2年度の精密検査受診者延数は表3 aのとおり、男性4,681人、女性5,474人、計10,155人であり、前年度に比し男性は1,232人の減少、女性は1,645人の減少、全体では2,877人減少している。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表3 cに示すとおり、白血球分類が最も多く、次に、肝機能検査、血糖検査、心電図検査、TSH(CLEIA)、Free T4、CAVIの順である。

問診や精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要な者を要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要な者を要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表3 d・eである。要治療者については、男性では高血圧、高コレステロール血症、糖尿病の順に多くみられ、女性では高血圧、高コレステロール血症、骨粗鬆症の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、肝機能障害、高コレステロール血症の順に多くみられ、女性では、高血糖、高コレステロール血症、血尿の順である。

表3 被爆者 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		%		%		%
73～79	2,454	52.4	2,742	50.1	5,196	51.2
80～89	1,892	40.4	2,221	40.6	4,113	40.5
90～102	335	7.2	511	9.3	846	8.3
計	4,681	100.0	5,474	100.0	10,155	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人、%)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
73～79	2,452	2,454	100.1	2,738	2,742	100.1	5,190	5,196	100.1
80～89	1,888	1,892	100.2	2,217	2,221	100.2	4,105	4,113	100.2
90～102	334	335	100.3	511	511	100.0	845	846	100.1
計	4,674	4,681	100.1	5,466	5,474	100.1	10,140	10,155	100.1

c. 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施件数	検査項目	実施件数
白血球分類	10,142	C T	298
肝機能検査	10,139	腹部超音波検査	208
血糖検査	10,139	甲状腺超音波検査	150
心電図	7,092	胃内視鏡検査	101
TSH (CLEIA)	4,083	心臓超音波検査	77
Free T4	4,075	眼底検査	69
CAVI	2,494	Free T3	57
頸動脈超音波検査	1,647	大腸内視鏡検査	11
尿沈査	948	ブドウ糖負荷試験	10
免疫グロブリン	564	細胞診検査	8
抗TG抗体	445	スパイロメトリー検査	2
MR I	308		

d 要治療者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	%	例数	%	例数	%
感染症	その他	3	0.06	7	0.13	10	0.10
悪性新生物	胃 癌	31	7.02	15	4.48	46	5.65
	肺 癌	17		12		29	
	多発性骨髄腫	49		53		102	
	結腸・直腸癌	10		7		17	
	乳 癌	0		52		52	
	前立腺癌	161		0		161	
	膀胱癌	10		4		14	
	甲状腺癌	30		85		115	
食道癌	2	3	5				
その他	18	14	32				
良性新生物	その他	1	0.02	3	0.05	4	0.04
内分泌・代謝疾	糖尿病	989	70.84	615	66.17	1,604	68.32
	甲状腺腫	3		4		7	
	甲状腺機能低下症	205		513		718	
	甲状腺機能亢進症	9		32		41	
	高コレステロール血症	1,480		2,333		3,813	
	高脂血症	10		16		26	
	痛風	614		98		712	
	その他	1		6		7	
血液疾患	貧血	117	2.65	163	3.17	280	2.93
	その他	7		10		17	
精神障害・神経感覚器疾患	パーキンソン	15	8.00	28	9.59	43	8.86
	白内障	248		362		610	
	その他	111		134		245	
循環器疾患	高血圧	2,597	83.16	2,806	69.41	5,403	75.75
	高血圧性心疾患	0		0		0	
	虚血性心疾患	594		375		969	
	その他の心疾患	466		411		877	
	脳血管障害	196		162		358	
	その他の循環器疾患	34		40		74	
呼吸器疾患	肺炎	12	4.77	1	4.35	13	4.55
	慢性気管支炎	1		5		6	
	喘息	88		194		282	
	肺気腫	57		8		65	
	肺線維症	1		0		1	
	その他	64		30		94	
消化器疾患	胃潰瘍	15	5.56	12	5.29	27	5.41
	十二指腸潰瘍	6		1		7	
	肝機能障害	137		112		249	
	その他	102		164		266	
泌尿・生殖器疾患	腎炎	5	18.96	4	0.91	9	9.23
	腎不全	87		32		119	
	前立腺肥大症	782		0		782	
	尿路感染症	0		0		0	
	その他	12		14		26	
皮膚・筋骨格系疾患	リウマチ様関節炎	65	5.91	121	33.46	186	20.76
	骨粗鬆症	197		1,686		1,883	
	その他	14		22		36	
その他	その他	2	0.04	0	0.00	2	0.02
総被検者数		4,674		5,466		10,140	

e 要経過観察者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	%	例数	%	例数	%
感染症	陳旧性肺結核	0		1		1	
	その他	1	0.02	3	0.07	4	0.05
新生物	多発性骨髄腫	2		1		3	
	その他の悪性新生物	0	0.30	1	0.64	1	0.48
	胃ポリープ	0		1		1	
	その他の良性新生物	12		32		44	
内分泌・代謝疾	耐糖能低下	0		0		0	
	甲状腺腫	24		49		73	
	その他の内分泌疾患	2	18.81	7	22.39	9	20.74
	高コレステロール血症	489		981		1,470	
	高脂血症	53		18		71	
	その他の代謝疾患	311		169		480	
血液疾患	貧血	79		181		260	
	その他	0	1.69	1	3.33	1	2.57
精神障害・神経感覚器疾患	精神障害	1	0.02	1	0.02	2	0.02
	神経感覚器疾患						
循環器疾患	高血圧	164		206		370	
	高血圧性心疾患	0		0		0	
	虚血性心疾患	0	21.80	0	17.22	0	19.33
	その他の心疾患	13		14		27	
	脳血管障害	15		10		25	
	その他の循環器疾患	827		711		1,538	
呼吸器疾患	喘息	0		0		0	
	肺気腫	9		1		10	
	肺線維症	3	0.60	0	0.22	3	0.39
	その他	16		11		27	
消化器疾患	胃炎	16		7		23	
	肝機能障害	589	13.67	349	6.97	938	10.06
	その他	34		25		59	
泌尿・生殖器疾患	腎炎	357		89		446	
	その他	467	17.63	533	11.38	1,000	14.26
皮膚・筋骨格系疾	皮膚疾患	0		0		0	
	リウマチ様関節炎	0	0.00	0	0.11	0	0.06
	骨粗鬆症	0		2		2	
	その他の骨関節疾患	0		4		4	
その他	血尿	367		950		1,317	
	蛋白尿	299		199		498	
	高血糖	1,761	52.63	1,531	49.27	3,292	50.82
	尿糖	33		12		45	
	その他	0		1		1	
総被検者数		4,674		5,466		10,140	

ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律(平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行)に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度から、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度から広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

平成18年度から、乳がん検診に乳房X線検査(マンモグラフィ)が必須項目となった。

平成28年7月から、胃がん検診は胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

平成30年度から、乳がん検診の視触診を廃止。

被爆者がん検診の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5のとおりである。

表4 被爆者がん検診の推移

検診	検診会場	施設検診	出張検診		
			中区・東区・南区 区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和63年8月～		平成2年4月～	平成4年4月～	平成5年4月～
肺がん検診					
乳がん検診					
子宮がん検診					
多発性骨髄腫検診			昭和63年8月～		
大腸がん検診	平成4年10月～		平成4年10月～		
骨粗鬆症検診	平成7年4月～				

表5 被爆者がん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診※	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診	
昭和 54	2,165							
55	4,388							
56	2,843							
57	4,979							
58	5,446							
59	5,079							
60	5,142							
61	5,024							
62	4,973							201
63	5,255							6,442
平成元	3,848	8,052	809	751	43,045			
2	6,415	10,579	2,468	2,277	40,060			
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018		
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535		
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306		
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812		
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995	
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891	
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605	
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055	
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597	
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000	
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848	
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211	
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516	
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193	
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580	
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480	
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049	
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932	
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888	
22	4,514	11,708	2,686	2,260	17,352	9,639	5,623	
23	4,133	11,159	2,536	2,040	16,376	9,766	5,306	
24	3,891	10,438	2,527	2,032	15,311	9,331	5,132	
25	3,392	11,311	2,300	1,870	14,468	8,570	4,984	
26	2,881	10,278	2,098	1,696	13,120	7,577	4,530	
27	2,317	9,681	1,993	1,567	12,401	7,025	4,543	
28	2,268(445)	8,730	1,779	1,360	11,253	6,345	3,855	
29	1,980(487)	8,345	1,643	1,276	10,538	6,016	3,553	
30	1,937(622)	8,056	1,520	1,154	9,991	5,595	3,513	
令和元	1,539(561)	7,194	1,451	1,043	8,918	5,130	3,081	
◎ 2	1,069(470)	5,850	1,063	769	7,356	3,833	2,562	

※ 胃がん検診は、平成 28 年 7 月から、胃部 X 線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。
()内は胃内視鏡検査の実施数(内数)

◎ 令和 2 年 4 月 17 日から令和 2 年 5 月 31 日の期間については、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ出張健診を中止したため、受診者数等が減少している。

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診と平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降(大腸がん検診は平成 4 年度以降)は国の制度として、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて実施したものである。

エ 令和元年度被爆者がん検診等実施状況(令和3年6月末までの追跡調査の結果)

(7) 胃がん検診

胃がん検診における受診者は表6 aのとおり、男性929人、女性610人、計1,539人である。要精検率は男性10.2%、女性9.8%、計10.1%、精検実施率はそれぞれ94.7%、93.3%、94.2%である。要精検率は女性に比し男性はやや高率であり、年齢別には、一定の傾向が見られなかった。

精検実施者における精検結果は表6 bに示すとおり、有所見率は男性14.75%、女性16.23%、全体では15.33%であり、女性が男性に比し高率である。主な所見の内訳では、胃ポリープ1.04%、胃潰瘍1.04%、胃癌0.52%である。

令和元年度新たに発見された胃癌症例は、表6 cに示すとおりである。胃癌症例は男性6例、女性2例、計8例である。胃癌発見率は男性0.65%、女性0.33%、計0.52%で、推定発見率はそれぞれ0.69%、0.35%、0.55%で男性が高率である。

表6 被爆者 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
72~79	662	74	11.2	69	93.2	432	39	9.0	36	92.3	1,094	113	10.3	105	92.9
80~89	252	21	8.3	21	100.0	169	20	11.8	19	95.0	421	41	9.7	40	97.6
90~95	15	0	0.0	0	0.0	9	1	11.1	1	100.0	24	1	4.2	1	100.0
計	929	95	10.2	90	94.7	610	60	9.8	56	93.3	1,539	155	10.1	146	94.2

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見例数	
		胃癌		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常		% ¹
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
男 性	72~79	5	0.76	0	0.00	6	0.91	7	1.06	83	12.54	1	101	15.26
	80~89	1	0.40	2	0.79	1	0.40	3	1.19	29	11.51	1	36	14.29
	90~94	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	6	0.65	2	0.22	7	0.75	10	1.08	112	12.06	2	137	14.75
女 性	73~79	1	0.23	0	0.00	5	1.16	4	0.93	44	10.19	2	54	12.50
	80~89	1	0.59	3	1.78	4	2.37	2	1.18	34	20.12	0	44	26.04
	90~95	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	11.11	0	1	11.11
	計	2	0.33	3	0.49	9	1.48	6	0.98	79	12.95	2	99	16.23
計	72~79	6	0.55	0	0.00	11	1.01	11	1.01	127	11.61	3	155	14.17
	80~89	2	0.48	5	1.19	5	1.19	5	1.19	63	14.96	1	80	19.00
	90~95	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	4.17	0	1	4.17
	計	8	0.52	5	0.32	16	1.04	16	1.04	191	12.41	4	236	15.33

¹ 所見率:所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た胃癌発見率

(単位:人)

性	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃癌症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	196	20	10.2	19	95.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	355	39	11.0	39	100.0	3	0.85	0.85
	入市・他群	378	36	9.5	32	88.9	3	0.79	0.89
	計	929	95	10.2	90	94.7	6	0.65	0.69
女性	2.0km以内直接被爆群	126	13	10.3	12	92.3	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	223	23	10.3	22	95.7	2	0.90	0.94
	入市・他群	261	24	9.2	22	91.7	0	0.00	0.00
	計	610	60	9.8	56	93.3	2	0.33	0.35
計	2.0km以内直接被爆群	322	33	10.2	31	93.9	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	578	62	10.7	61	98.4	5	0.87	0.88
	入市・他群	639	60	9.4	54	90.0	3	0.47	0.52
	計	1,539	155	10.1	146	94.2	8	0.52	0.55

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数(食道癌を含む)/受診者数×100

⁴ 推定発見率:発見率/精検実施率×100

(イ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者は表7 aのとおり、男性3,360人、女性3,834人、計7,194人である。要精検率は男性4.8%、女性3.5%、計4.1%、精検実施率はそれぞれ87.6%、93.3%、90.2%である。

精検結果は表7 bに示すとおり、有所見率は男性5.12%、女性3.47%、計4.24%で男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳では、肺線維症0.51%、肺気腫0.28%、肺癌0.13%である。

令和元年度新たに発見された肺癌症例と発見率は表7 cに示すとおりである。肺癌症例は、男性6例、女性3例、計9例である。肺癌発見率は男性0.18%、女性0.08%、計0.13%で、推定発見率はそれぞれ0.21%、0.09%、0.14%である。

表7 被爆者 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男性				女性				計						
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
72~79	1,970	75	3.8	69	92.0	2,129	67	3.1	62	92.5	4,099	142	3.5	131	92.3
80~89	1,243	77	6.2	69	89.6	1,447	53	3.7	50	94.3	2,690	130	4.8	119	91.5
90~102	147	9	6.1	3	33.3	258	14	5.4	13	92.9	405	23	5.7	16	69.6
計	3,360	161	4.8	141	87.6	3,834	134	3.5	125	93.3	7,194	295	4.1	266	90.2

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数		
		肺癌		縦隔腫瘍		非結核性抗酸菌症		肺炎		肺気腫		肺線維症		その他		正常	%	
		数	% ¹	数	% ¹	数	% ¹	数	% ¹	数	% ¹	数	% ¹					
男性	73~79	5	0.25	1	0.05	0	0.00	1	0.05	5	0.25	17	0.86	50	2.54	4	79	4.01
	80~89	1	0.08	0	0.00	2	0.16	5	0.40	13	1.05	16	1.29	53	4.26	4	90	7.24
	90~95	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.68	0	0.00	0	0.00	2	1.36	0	3	2.04
	計	6	0.18	1	0.03	2	0.06	7	0.21	18	0.54	33	0.98	105	3.13	8	172	5.12
女性	73~79	1	0.05	0	0.00	4	0.19	4	0.19	2	0.09	4	0.19	55	2.58	4	70	3.29
	80~89	1	0.07	0	0.00	0	0.00	2	0.14	0	0.00	0	0.00	46	3.18	8	49	3.39
	90~99	1	0.39	0	0.00	0	0.00	1	0.39	0	0.00	0	0.00	12	4.65	0	14	5.43
	計	3	0.08	0	0.00	4	0.10	7	0.18	2	0.05	4	0.10	113	2.95	12	133	3.47
計	73~79	6	0.15	1	0.02	4	0.10	5	0.12	7	0.17	21	0.51	105	2.56	8	149	3.64
	80~89	2	0.07	0	0.00	2	0.07	7	0.26	13	0.48	16	0.59	99	3.68	12	139	5.17
	90~99	1	0.25	0	0.00	0	0.00	2	0.49	0	0.00	0	0.00	14	3.46	0	17	4.20
	計	9	0.13	1	0.01	6	0.08	14	0.19	20	0.28	37	0.51	218	3.03	20	305	4.24

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺癌症例		
			数	% ¹	数	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	735	34	4.6	30	88.2	2	0.27	0.31
	2.1km以上直接被爆群	1,273	65	5.1	61	93.8	1	0.08	0.09
	入市・他群	1,352	62	4.6	50	80.6	3	0.22	0.27
	計	3,360	161	4.8	141	87.6	6	0.18	0.21
女性	2.0km以内直接被爆群	813	25	3.1	24	96.0	1	0.12	0.13
	2.1km以上直接被爆群	1,389	56	4.0	53	94.6	1	0.07	0.07
	入市・他群	1,632	53	3.2	48	90.6	1	0.06	0.07
	計	3,834	134	3.5	125	93.3	3	0.08	0.09
計	2.0km以内直接被爆群	1,548	59	3.8	54	91.5	3	0.19	0.21
	2.1km以上直接被爆群	2,662	121	4.5	114	94.2	2	0.08	0.08
	入市・他群	2,984	115	3.9	98	85.2	4	0.13	0.15
	計	7,194	295	4.1	266	90.2	9	0.13	0.14

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(ウ) 乳がん・子宮がん検診

乳がん検診の受診者数は表 8 a のとおりで 1,451 人、子宮がん検診は 1,043 人である。要精検率は、乳がん検診が 2.8%、子宮がん検診が 0.3% である。また精検実施率はそれぞれ 95.0%、100.0% である。

表 8 b にそれぞれの精検結果を示す。乳がん検診の有所見率は 2.41% である。主な所見の内訳は乳腺症が 0.62%、乳癌 0.34%、線維腺腫 0.34% である。子宮がん検診の有所見率は 0.29% である。主な所見の内訳は中・高度異型上皮が 0.10%、軽度異型上皮 0.10% である。

令和元年度に新たに発見された乳癌、子宮頸癌は、表 8 c に示すとおりである。乳癌症例は 5 例、子宮頸癌は 0 例である。発見率は乳癌 0.34%、子宮頸癌 0.00%、推定発見率はそれぞれ 0.36%、0.00% である。

表8 被爆者 乳がん・子宮がん

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

乳がん 検診	年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮 がん 検診	年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% ¹	% ²	% ¹	% ²							
	73~79	1,023	30	2.9	29	96.7		73~79	743	2	0.3	2	100.0
	80~89	407	10	2.5	9	90.0		80~89	286	1	0.3	1	100.0
	90~96	21	0	0.0	0	0.0		90~96	14	0	0.0	0	0.0
	計	1,451	40	2.8	38	95.0		計	1,043	3	0.3	3	100.0

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

乳がん 検診	年齢 (歳)	精検所見									有所見例数	
		乳癌		線維腺腫		乳腺症		その他		正常		% ¹
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
	73~79	5	0.49	5	0.49	7	0.68	12	1.17	3	29	2.83
	80~89	0	0.00	0	0.00	2	0.49	4	0.98	4	6	1.47
	90~96	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	5	0.34	5	0.34	9	0.62	16	1.10	7	35	2.41

子宮 がん 検診	年齢 (歳)	精検所見							有所見例数			
		子宮頸癌		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		% ¹
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
	73~79	0	0.00	0	0.00	1	0.13	1	0.13	0	2	0.27
	80~89	0	0.00	1	0.35	0	0.00	0	0.00	0	1	0.35
	90~96	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	1	0.10	1	0.10	1	0.10	0	3	0.29

¹ 所見率: 所見例数/受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た乳癌・子宮頸癌発見率

(単位:人)

乳がん 検診	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳癌症例		
			% ¹	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴			
	2.0km以内直接被爆群	324	2	0.6	2	100.0	1	0.31	0.31
	2.1km以上直接被爆群	529	23	4.3	22	95.7	4	0.76	0.79
	入市・他群	598	15	2.5	14	93.3	0	0.00	0.00
	計	1,451	40	2.8	38	95.0	5	0.34	0.36

子宮 がん 検診	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮頸癌症例		
			% ¹	% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴			
	2.0km以内直接被爆群	234	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	375	1	0.3	1	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	434	2	0.5	2	100.0	0	0.00	0.00
	計	1,043	3	0.3	3	100.0	0	0.00	0.00

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(I) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者は8,922人であり、その内訳は男性3,992人、女性4,930人で、要精検率はそれぞれ8.3%、5.6%で全体では6.8%である(表9a)。また、精検実施率はそれぞれ100.0%、100.0%、100.0%である。精検結果は表9bのとおりで、有所見率は男性5.76%、女性3.33%、計4.42%である。その内訳で最も多くみられるのは前骨髄腫1.95%で、ついで骨髄腫1.02%、マクログロブリン血症0.81%である。

表9 被爆者 多発性骨髄腫検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数	精検実施者数		受診者数	要精検者数	精検実施者数		受診者数	要精検者数	精検実施者数				
			% ¹	% ²			% ⁰	% ⁰			% ¹	% ²			
72~79	2,260	150	6.6	150	100.0	2,660	107	4.0	107	100.0	4,920	257	5.2	257	100.0
80~89	1,540	163	10.6	163	100.0	1,873	123	6.6	123	100.0	3,413	286	8.4	286	100.0
90~102	192	17	8.9	17	100.0	397	44	11.1	44	100.0	589	61	10.4	61	100.0
計	3,992	330	8.3	330	100.0	4,930	274	5.6	274	100.0	8,922	604	6.8	604	100.0

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見									有所見例数	
		骨髄腫		前骨髄腫		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症		M蛋白		% ¹
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	(-)				
男 性	73~79	23	1.02	43	1.90	20	0.88	12	0.53	52	98	4.34
	80~89	23	1.49	52	3.38	27	1.75	18	1.17	42	120	7.79
	90~92	0	0.00	8	4.17	2	1.04	2	1.04	4	12	6.25
	計	46	1.15	103	2.58	49	1.23	32	0.80	98	230	5.76
女 性	73~79	18	0.68	25	0.94	6	0.23	12	0.45	45	61	2.29
	80~89	19	1.01	32	1.71	12	0.64	8	0.43	52	71	3.79
	90~97	8	2.02	14	3.53	5	1.26	5	1.26	11	32	8.06
	計	45	0.91	71	1.44	23	0.47	25	0.51	108	164	3.33
計	73~79	41	0.83	68	1.38	26	0.53	24	0.49	97	159	3.23
	80~89	42	1.23	84	2.46	39	1.14	26	0.76	94	191	5.60
	90~97	8	1.36	22	3.74	7	1.19	7	1.19	15	44	7.47
	計	91	1.02	174	1.95	72	0.81	57	0.64	206	394	4.42

¹ 所見率:所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位:人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		骨髄腫症例数		新規骨髄腫症例 ¹		
			% ²	% ³	% ⁴	% ⁴	発見率 ⁴		推定発見率 ⁵		
							発見率 ⁴	推定発見率 ⁵			
男 性	2.0km以内直接被爆群	872	52	6.0	52	100.0	6	0.69	1	0.11	0.11
	2.1km以上直接被爆群	1,529	140	9.2	140	100.0	16	1.05	1	0.07	0.07
	入 市・他 群	1,591	138	8.7	138	100.0	24	1.51	4	0.25	0.25
	計	3,992	330	8.3	330	100.0	46	1.15	6	0.15	0.15
女 性	2.0km以内直接被爆群	1,091	47	4.3	47	100.0	18	1.65	5	0.46	0.46
	2.1km以上直接被爆群	1,803	111	6.2	111	100.0	19	1.05	0	0.00	0.00
	入 市・他 群	2,036	116	5.7	116	100.0	8	0.39	2	0.10	0.10
	計	4,930	274	5.6	274	100.0	45	0.91	7	0.14	0.14
計	2.0km以内直接被爆群	1,963	99	5.0	99	100.0	24	1.22	6	0.31	0.31
	2.1km以上直接被爆群	3,332	251	7.5	251	100.0	35	1.05	1	0.03	0.03
	入 市・他 群	3,627	254	7.0	254	100.0	32	0.88	6	0.17	0.17
	計	8,922	604	6.8	604	100.0	91	1.02	13	0.15	0.15

¹ 今年度新たに発見された癌症例数

² 要精検率:要精検者数/受診者数×100

³ 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

⁴ 発見率:症例数/受診者数×100

⁵ 推定発見率:発見率/精検実施率×100

骨髄腫症例は男性 46 例(1.15%)、女性 45 例(0.91%)、計 91 例(1.02%)である。そのうち、今年度新たに発見された症例は、表 9 c に示すとおり、男性 6 例(0.15%)、女性 7 例(0.14%)、計 13 例(0.15%)で、推定発見率はそれぞれ 0.15%、0.14%、0.15%である。

(オ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数の内訳は表 10 a に示すとおりである。男性 2,347 人、女性 2,783 人、計 5,130 人であり、要精検率はそれぞれ 8.3%、9.1%、8.8%である。精検実施率は、男性 78.5%、女性 64.2%、全体で 70.4%である。

精検結果は表 10 b のとおり、主な所見の内訳は腺腫 2.34%、非腫瘍性ポリープ 1.11%、大腸憩室 1.07%である。

令和元年度新たに発見された大腸癌症例は表 10 c のとおり男性 7 例、女性 9 例、計 16 例、発見率はそれぞれ 0.30%、0.32%、0.31%であり、推定発見率は 0.38%、0.50%、0.44%である。

表 10 被爆者 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性				女 性				計						
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
72~79	1,324	95	7.2	82	86.3	1,540	110	7.1	89	80.9	2,864	205	7.2	171	83.4
80~89	921	87	9.4	64	73.6	1,025	108	10.5	65	60.2	1,946	195	10.0	129	66.2
90~103	102	13	12.7	7	53.8	218	36	16.5	9	25.0	320	49	15.3	16	32.7
計	2,347	195	8.3	153	78.5	2,783	254	9.1	163	64.2	5,130	449	8.8	316	70.4

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見例数			
		大 腸 癌		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他		正常	% ¹	
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	正常				
男 性	73~79	1	0.08	51	3.85	16	1.21	0	0.00	11	0.83	11	0.83	10	90	6.80
	80~89	6	0.65	20	2.17	17	1.85	0	0.00	11	1.19	6	0.65	10	60	6.51
	90~94	0	0.00	2	1.96	1	0.98	1	0.98	1	0.98	0	0.00	2	5	4.90
	計	7	0.30	73	3.11	34	1.45	1	0.04	23	0.98	17	0.72	22	155	6.60
女 性	72~79	5	0.32	30	1.95	11	0.71	2	0.13	23	1.49	9	0.58	21	80	5.19
	80~89	4	0.39	17	1.66	11	1.07	0	0.00	9	0.88	7	0.68	21	48	4.68
	90~103	0	0.00	0	0.00	1	0.46	0	0.00	0	0.00	1	0.46	1	2	0.92
	計	9	0.32	47	1.69	23	0.83	2	0.07	32	1.15	17	0.61	43	130	4.67
計	72~79	6	0.21	81	2.83	27	0.94	2	0.07	34	1.19	20	0.70	31	170	5.94
	80~89	10	0.51	37	1.90	28	1.44	0	0.00	20	1.03	13	0.67	31	108	5.55
	90~103	0	0.00	2	0.63	2	0.63	1	0.31	1	0.31	1	0.31	3	7	2.19
	計	16	0.31	120	2.34	57	1.11	3	0.06	55	1.07	34	0.66	65	285	5.56

¹ 所見率:所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大腸癌症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	推定発見率 ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	503	51	10.1	41	80.4	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	858	65	7.6	51	78.5	4	0.47	0.60
	入市・他群	986	79	8.0	61	77.2	3	0.30	0.39
	計	2,347	195	8.3	153	78.5	7	0.30	0.38
女性	2.0km以内直接被爆群	616	68	11.0	46	67.6	3	0.49	0.72
	2.1km以上直接被爆群	994	80	8.0	48	60.0	1	0.10	0.17
	入市・他群	1,173	106	9.0	69	65.1	5	0.43	0.66
	計	2,783	254	9.1	163	64.2	9	0.32	0.50
計	2.0km以内直接被爆群	1,119	119	10.6	87	73.1	3	0.27	0.37
	2.1km以上直接被爆群	1,852	145	7.8	99	68.3	5	0.27	0.40
	入市・他群	2,159	185	8.6	130	70.3	8	0.37	0.53
	計	5,130	449	8.8	316	70.4	16	0.31	0.44

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 推定発見率: 発見率/精検実施率 × 100

(カ) 被爆者がん検診別に見たがん発見率と陽性反応的中度

被爆者の5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率・陽性反応的中度を表11に示す。子宮頸癌発見率は0%であったが、胃癌・肺癌・大腸癌・乳癌の発見率は0.52%、0.13%、0.31%、0.34%、子宮癌を除く陽性反応的中度はそれぞれ5.16%、3.05%、3.56%、12.50%である。子宮がん以外のがん検診精度は良好と考える。

表11 被爆者 がん検診別に見た癌発見率と陽性反応的中度

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検実施者数		癌症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	陽性反応的中度 ⁴	
男性	胃がん	929	95	10.2	90	94.7	6	0.65	6.32
	肺がん	3,360	161	4.8	141	87.6	6	0.18	3.73
	大腸がん	2,347	195	8.3	153	78.5	7	0.30	3.59
女性	胃がん	610	60	9.8	56	93.3	2	0.33	3.33
	肺がん	3,834	134	3.5	125	93.3	3	0.08	2.24
	大腸がん	2,783	254	9.1	163	64.2	9	0.32	3.54
	乳がん	1,451	40	2.8	38	95.0	5	0.34	12.50
	子宮がん	1,043	3	0.3	3	100.0	0	0.00	0.00
計	胃がん	1,539	155	10.1	146	94.2	8	0.52	5.16
	肺がん	7,194	295	4.1	266	90.2	9	0.13	3.05
	大腸がん	5,130	449	8.8	316	70.4	16	0.31	3.56
	乳がん	1,451	40	2.8	38	95.0	5	0.34	12.50
	子宮がん	1,043	3	0.3	3	100.0	0	0.00	0.00

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(キ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要因の一つである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成7年4月より実施されている。今年度の受診者の内訳は表 12 a に示すとおりで男性 1,558 人、女性 1,523 人、計 3,081 人である。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性 43.4%、女性 77.5%、計 60.2%である。女性が男性に比して高率であった。被爆状況別にみた結果を表 12 b に示す。

表 12 被爆者 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	受診者数	測定結果					
			減少なし	減少あり			計	% ¹
				軽度	中等度	高度		
男性	72～79	990	621	236	115	18	369	37.3
	80～89	522	246	148	93	35	276	52.9
	90～100	46	15	15	13	3	31	67.4
	計	1,558	882	399	221	56	676	43.4
女性	72～79	999	259	358	289	93	740	74.1
	80～89	486	82	131	188	85	404	83.1
	90～96	38	2	11	12	13	36	94.7
	計	1,523	343	500	489	191	1,180	77.5
計	72～79	1,989	880	594	404	111	1,109	55.8
	80～89	1,008	328	279	281	120	680	67.5
	90～100	84	17	26	25	16	67	79.8
	計	3,081	1,225	899	710	247	1,856	60.2

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

b 被爆状況別に見た骨密度測定結果

(単位:人)

性	被爆状況	受診者数	測定結果					
			減少なし	減少あり			計	% ¹
				軽度	中等度	高度		
男性	2.0km以内直接被爆群	368	189	98	65	16	179	48.6
	2.1km以上直接被爆群	616	368	153	74	21	248	40.3
	入市・他群	574	325	148	82	19	249	43.4
	計	1,558	882	399	221	56	676	43.4
女性	2.0km以内直接被爆群	353	97	110	98	48	256	72.5
	2.1km以上直接被爆群	578	147	194	173	64	431	74.6
	入市・他群	592	99	196	218	79	493	83.3
	計	1,523	343	500	489	191	1,180	77.5
計	2.0km以内直接被爆群	721	286	208	163	64	435	60.3
	2.1km以上直接被爆群	1,194	515	347	247	85	679	56.9
	入市・他群	1,166	424	344	300	98	742	63.6
	計	3,081	1,225	899	710	247	1,856	60.2

¹ 所見率: 所見例数/受診者数×100

オ 原爆被爆二世健康診断の実施

原爆被爆二世の健康面での不安を除く等のために、昭和 48 年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和 54 年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成 13 年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施し、平成 2 年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

なお、平成 28 年度からは多発性骨髄腫検査も実施している。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆二世健康診断の実施状況は表 13 のとおりである。

表 13 原爆被爆二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年 度	一般検査	精密検査	精検実施率	年 度	一般検査	精密検査	精検実施率
昭和 48	578	580	100.3	9	2,867	2,309	80.5
49	109	110	100.9	10	2,786	2,796	100.4
50	82	83	101.2	11	3,201	3,202	100.0
51	51	51	100.0	12	3,711	3,711	100.0
52	131	129	98.5	13	3,762	3,762	100.0
53	124	126	101.6	14	2,919	2,919	100.0
54	1,942	1,768	91.0	15	3,150	3,150	100.0
55	1,041	626	60.1	16	2,483	2,483	100.0
56	854	494	57.8	17	2,678	2,678	100.0
57	995	572	57.5	18	2,497	2,497	100.0
58	1,152	663	57.6	19	2,477	2,477	100.0
59	1,551	853	55.0	20	2,428	2,428	100.0
60	1,798	1,072	59.6	21	2,565	2,565	100.0
61	1,967	1,155	58.7	22	2,486	2,486	100.0
62	2,250	1,314	58.4	23	2,344	2,344	100.0
63	2,780	1,551	55.8	24	2,525	2,525	100.0
平成元	2,417	1,161	48.0	25	2,432	2,432	100.0
2	2,078	1,127	54.2	26	2,489	2,489	100.0
3	2,132	1,219	57.2	27	2,452	2,452	100.0
4	2,309	1,520	65.8	28	2,487	2,487	100.0
5	2,508	1,610	64.2	29	2,362	2,362	100.0
6	2,297	1,698	73.9	30	2,285	2,285	100.0
7	2,391	1,936	81.0	令和元	2,149	2,149	100.0
8	2,475	2,138	86.4	2	1,881	1,881	100.0

カ 健康管理の推進

(7) 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸がん等の悪性新生物の早期発見に努めた。

(4) 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行った。

キ 健康診断医療機器等の整備

- ・超音波骨密度測定装置更新
- ・超音波診断装置更新

- ・解析付心電計更新
- ・医用画像情報システム（SYNAPSE）更新

ク 被爆者健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料（カルテ、心電図所見等）を分類整理し保存するとともに、これら健康診断の実績、結果等について諸統計を作成し、調査研究資料として整備した。

ケ 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

広島県・広島市が国からの受託事業として実施する黒い雨体験者に対する医師・臨床心理士・保健師による相談・支援事業について、医師等の派遣調整、相談会の日程調整及び会場の確保、会議録の作成、本人情報や相談記録等のデータベース化などの業務を実施した。

(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等

ア 健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年9月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者医療確保法に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表1、検査項目は表2、実施状況は表3のとおりである。

表1 検診内容・検診区域の推移

検診項目	検診会場 施設検診	出張検診			
		中区・東区・南区・ 西区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老健法基本健康診査	元. 9～20.3	2. 4～20.3		10. 4～20.3*	10. 4～20.3*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～	20.5～	27.4～△	20.5～*	20.5～*
胃がん検診	元. 9～	2. 4～	4. 4～	5. 4～	
肺がん検診		8. 4～			
乳がん検診□		2. 4～	4. 4～	5. 4～	
子宮がん検診					
大腸がん検診	4. 11～	4. 11～	27.4～△	10. 4～*	10. 4～*◇
結核健診	元. 9～	2. 4～			
骨粗鬆症検診	7. 10～	30.5～ 5大がん検診会場で実施			
マンモグラフィ検診	9. 4～17.3◎				
C型・B型肝炎ウイルス検査	10. 10～	10. 10～	31. 4～	10. 10～*	10. 10～*◇

「元. 9～」等は、検診開始年月

* 日曜検診及び平成28年～5大がん検診会場（安佐医師会館、安佐公民館を除く）

◇ 白木町は平成2年4月から13年3月まで実施

△ 5大がん検診会場の一部で実施→令和元年度から全会場で実施

◎ 平成17年度から乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目

□ 平成30年度から視触診廃止

表2 健診種別及び検査項目（令和2年度）

種別	対象者（広島市内在住者）	検査項目	
特定健康診査	40歳以上75歳未満(被爆者含む)[年度内に40歳になる39歳の方は受診可]	必須検査：身体測定・血圧測定・尿検査・ 血中脂質検査・肝機能検査・ 腎機能検査・血糖検査・ 尿酸検査・貧血検査・診察 詳細項目：心電図・眼底検査 (医師の判断により実施)	
健康診査	上記年齢者の医療保険未加入者		
がん検診	後期高齢者医療被保険者 75歳以上の方		
	胃がん検診	X線検査については年度内に40歳以上の年齢に達する方 内視鏡検査については年度内に50歳以上の年齢に達する方、2年に1回	胃部X線撮影 胃内視鏡検査
	肺がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する方	胸部X線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する女性、2年に1回	マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	20歳以上の女性、2年に1回	視診、内診、細胞診(頸部)
大腸がん検診	年度内に40歳以上の年齢に達する方	便潜血二日法	
結核健康診断	65歳以上の方[年度内に65歳になる64歳の方は受診可]	胸部X線撮影	
骨粗鬆症検診	女性：20歳から5歳間隔の年齢の方 男性：40歳から5歳間隔の年齢の方	骨塩定量検査(超音波方式)	
C型・B型肝炎ウイルス検査 (緊急肝炎ウイルス検査)	各種健診等により肝炎ウイルス検査を受けたことのない、又は、受ける予定のない20歳以上の方	HCV抗体検査 HBs抗原検査	
高齢者肺炎球菌ワクチン	65歳から100歳までの5歳間隔の年齢の方	ワクチン接種	
高齢者に対するインフルエンザ定期接種	満65歳以上の方	ワクチン接種	

表 3 実施状況

(単位:件)

年度	基本健康診査		がん検診					結核定期健康診断	骨粗鬆症検診	マンモグラフィ検診	C型・B型肝炎ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん ^{※3}	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	-	374	-	-	-
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	-	22,683	-	-	-
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	-	22,433	-	-	-
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	-	-	-
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	-	-	-
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	-	-	-
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	-	-
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	-	-
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	-
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査 ^{※1}		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	12,685										
21		14,519	17,718	20,116	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435
22		13,239	17,153	18,905	10,027	9,793	10,086	11,387	2,072		107
23		13,713	16,477	19,080	10,636	10,025	14,325	11,175	2,147		111
24		16,313	17,033	20,276	10,604	9,724	15,461	12,114	3,090		411
25		16,234	16,240	20,499	10,758	9,714	14,230	12,736	2,857		11,885 ^{※2}
26		18,196	15,887	23,965	8,816	7,073	18,822	14,117	3,346		9,974
27		18,123	15,830	23,409	9,698	7,475	19,695	13,924	3,009		9,705
28		18,136	14,614	22,768	8,646	6,846	18,223	14,061	2,792		6,808
29		18,505	15,386(2,837)	23,312	8,392	6,879	17,911	15,156	3,301		7,580
30		19,684	13,906(2,360)	24,009	7,917	6,399	18,502	16,070	3,973		6,623
令和元		18,848	12,794(2,607)	22,790	8,208	6,627	17,849	15,260	3,455		4,547
◎ 2		14,637	10,351(2,139)	18,745	5,861	4,788	15,224	12,437	3,639		2,767

※1 特定健康診査は、医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。

※2 C型・B型肝炎ウイルス検査は、平成25年度から緊急肝炎ウイルス検査事業(無料)による件数である。※3 胃がん検診は、平成29年度から、胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。()内は胃内視鏡検査の実施数(内数)

◎ 令和2年4月17日から令和2年5月31日の期間については、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ出張健診を中止したため、受診者数等が減少している。

イ 令和2年度健康診査実施状況

令和2年度の健康診査等の受診者数は、表4 aに示すように男性6,573人、女性8,064人、計14,637人であった。年齢別にみると、男女とも60歳代と70歳代が多かった。区別の受診者数では、西区が15.4%と最も多く、ついで南区が15.3%、中区が14.7%、佐伯区が12.5%であった(表4 b)。

表 4 健康診査等

a 受診者数(被爆者150人含む)

(単位:人)

年齢(歳)	男性		女性		計	
		%		%		%
39 ~ 49	566	8.6	632	7.9	1,198	8.2
50 ~ 59	549	8.4	680	8.4	1,229	8.4
60 ~ 69	1,465	22.3	2,202	27.3	3,667	25.1
70 ~ 79	3,144	47.8	3,784	46.9	6,928	47.3
80 ~ 97	849	12.9	766	9.5	1,615	11.0
計	6,573	100.0	8,064	100.0	14,637	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		%		%		%
中 区	905	13.8	1,254	15.6	2,159	14.7
東 区	821	12.5	972	12.0	1,793	12.2
南 区	966	14.7	1,271	15.8	2,237	15.3
西 区	1,000	15.2	1,248	15.5	2,248	15.4
安佐南区	796	12.1	892	11.1	1,688	11.5
安佐北区	702	10.7	799	9.9	1,501	10.3
安 芸 区	523	7.9	656	8.1	1,179	8.1
佐 伯 区	860	13.1	972	12.0	1,832	12.5
計	6,573	100.0	8,064	100.0	14,637	100.0

ウ 令和元年度がん検診等実施状況

(7) 胃がん検診

胃がん検診の受診者は表 5 a に示すとおり、男性 5,510 人、女性 7,284 人、計 12,794 人である。要精検率は男性 7.3%、女性 4.2%、計 5.6%、精検実施率はそれぞれ 86.1%、91.6%、88.5%である。要精検率は男性に比し女性はやや高率である。(全体で見ると、高齢になるほど高率となる。)

精検結果は表 5 b のとおり、有所見率は男性 8.20%、女性 4.37%、計 6.02%であり、男性が女性に比し高率である。

主な所見の内訳は、胃ポリープが 0.69%と最も多く、ついで胃潰瘍が 0.52%、胃癌は 0.25%、胃腺腫 0.05%、食道癌などの胃以外の悪性腫瘍 0.04%である。

今年度新たに発見された胃癌症例は表 5 c に示すとおりである。胃癌症例(胃癌と胃非上皮性悪性腫瘍の合計)は、男性で 20 例、女性では 12 例、計 32 例である。胃癌発見率は男性 0.36% 女性 0.16%、計 0.25%、陽性反応の中度はそれぞれ 4.98%、3.88%、4.50%である。

なお、厚生労働省の平成 30 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計は発表されていない。(令和 3 年 7 月 1 日時点)

表 5 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
39～49	714	23	3.2	19	82.6	1,689	46	2.7	43	93.5	2,403	69	2.9	62	89.9
50～59	517	24	4.6	20	83.3	1,113	30	2.7	28	93.3	1,630	54	3.3	48	88.9
60～69	1,596	116	7.3	96	82.8	1,982	95	4.8	88	92.6	3,578	211	5.9	184	87.2
70～79	2,220	190	8.6	165	86.8	2,149	104	4.8	96	92.3	4,369	294	6.7	261	88.8
80～97	463	49	10.6	46	93.9	351	34	9.7	28	82.4	814	83	10.2	74	89.2
計	5,510	402	7.3	346	86.1	7,284	309	4.2	283	91.6	12,794	711	5.6	629	88.5

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率：精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数		
		胃癌		胃非上皮性悪性腫瘍		胃以外の悪性腫瘍		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常		% ¹
			% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			
男性	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.14	1	0.14	12	1.68	6	14	1.96
	50～59	1	0.19	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.39	1	0.19	22	4.26	1	26	5.03
	60～69	6	0.38	0	0.00	2	0.13	1	0.06	15	0.94	15	0.94	90	5.64	8	129	8.08
	70～79	7	0.32	0	0.00	1	0.05	4	0.18	16	0.72	28	1.26	157	7.07	16	213	9.59
	80～89	6	1.30	0	0.00	1	0.22	1	0.22	8	1.73	6	1.30	48	10.37	1	70	15.12
	計	20	0.36	0	0.00	4	0.07	6	0.11	42	0.76	51	0.93	329	5.97	32	452	8.20
女性	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	8	0.47	1	0.06	34	2.01	8	43	2.55
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	7	0.63	1	0.09	21	1.89	5	29	2.61
	60～69	2	0.10	0	0.00	1	0.05	0	0.00	12	0.61	1	0.05	85	4.29	10	101	5.10
	70～79	5	0.23	0	0.00	0	0.00	0	0.00	15	0.70	9	0.42	79	3.68	12	108	5.03
	80～89	5	1.42	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4	1.14	3	0.85	25	7.12	1	37	10.54
	計	12	0.16	0	0.00	1	0.01	0	0.00	46	0.63	15	0.21	244	3.35	36	318	4.37
計	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9	0.37	2	0.08	46	1.91	14	57	2.37
	50～59	1	0.06	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9	0.55	2	0.12	43	2.64	6	55	3.37
	60～69	8	0.22	0	0.00	3	0.08	1	0.03	27	0.75	16	0.45	175	4.89	18	230	6.43
	70～79	12	0.27	0	0.00	1	0.02	4	0.09	31	0.71	37	0.85	236	5.40	28	321	7.35
	80～89	11	1.35	0	0.00	1	0.12	1	0.12	12	1.47	9	1.11	73	8.97	2	107	13.14
	計	32	0.25	0	0.00	5	0.04	6	0.05	88	0.69	66	0.52	573	4.48	68	770	6.02

¹ 有所見率:有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た胃がん発見率

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃 癌 症 例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	陽性反応的中度 ⁴	
男性	施設検診	3,948	234	5.9	203	86.8	16	0.41	6.84
	集団検診	1,562	168	10.8	143	85.1	4	0.26	2.38
	計	5,510	402	7.3	346	86.1	20	0.36	4.98
女性	施設検診	4,432	139	3.1	131	94.2	10	0.23	7.19
	集団検診	2,852	170	6.0	152	89.4	2	0.07	1.18
	計	7,284	309	4.2	283	91.6	12	0.16	3.88
計	施設検診	8,380	373	4.5	334	89.5	26	0.31	6.97
	集団検診	4,414	338	7.7	295	87.3	6	0.14	1.78
	計	12,794	711	5.6	629	88.5	32	0.25	4.50
平成30年度全国		-	-	-	-	-	-	-	-

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数(食道癌を含む)/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度:癌症例数/要精検者数×100

(1) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すとおり、男性 9,319 人、女性 13,471 人、計 22,790 人である。要精検率は男性 2.9%、女性 2.2%、計 2.5%、精検実施率はそれぞれ 85.1%、92.7%、89.1%である。

精検結果は表 6 b のとおりで、有所見率は男性 2.24%、女性 1.78%、計 1.97%である。主な所見の内訳は、肺線維症 0.18%、肺癌 0.11%、非結核性抗酸菌症 0.08%、肺炎 0.04%、縦隔腫瘍 0.01%、活動性肺結核 0.01%である。

今年度新たに発見された肺癌症例は表 6 c に示すとおりである。肺癌症例は、男性 16 例、女性 8 例、計 24 例である。肺癌発見率は男性 0.17%、女性 0.06%、計 0.11%で、陽性反応的中度はそれぞれ 5.95%、2.65%、4.20%である。

なお、厚生労働省の平成 30 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計は発表されていない。(令和 3 年 7 月 1 日時点)

表6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
39~49	934	11	1.2	9	81.8	2,281	19	0.8	18	94.7	3,215	30	0.9	27	90.0
50~59	685	19	2.8	17	89.5	1,630	19	1.2	19	100.0	2,315	38	1.6	36	94.7
60~69	2,428	59	2.4	52	88.1	3,574	85	2.4	78	91.8	6,002	144	2.4	130	90.3
70~79	4,141	131	3.2	109	83.2	4,871	129	2.6	120	93.0	9,012	260	2.9	229	88.1
80~98	1,131	49	4.3	42	85.7	1,115	50	4.5	45	90.0	2,246	99	4.4	87	87.9
計	9,319	269	2.9	229	85.1	13,471	302	2.2	280	92.7	22,790	571	2.5	509	89.1

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数		
		肺 癌		縦隔腫瘍		活動性肺結核		非結核性抗酸菌症		肺 炎		肺線維症		その他		正常	% ¹	
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹					
男性	39~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	0.54	4	5	0.54
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.15	1	0.15	12	1.75	6	14	2.04
	60~69	1	0.04	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.04	6	0.25	30	1.24	19	38	1.57
	70~79	12	0.29	2	0.05	1	0.02	1	0.02	2	0.05	13	0.31	74	1.79	19	105	2.54
	80~98	3	0.27	0	0.00	0	0.00	1	0.09	2	0.18	7	0.62	34	3.01	6	47	4.16
計	16	0.17	2	0.02	1	0.01	2	0.02	6	0.06	27	0.29	155	1.66	54	209	2.24	
女性	40~49	1	0.04	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	11	0.48	7	12	0.53
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.06	0	0.00	8	0.49	10	9	0.55
	60~69	3	0.08	0	0.00	0	0.00	3	0.08	0	0.00	5	0.14	58	1.62	18	69	1.93
	70~79	4	0.08	0	0.00	0	0.00	11	0.23	1	0.02	6	0.12	90	1.85	21	112	2.30
	80~94	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.18	0	0.00	3	0.27	33	2.96	10	38	3.41
計	8	0.06	0	0.00	0	0.00	16	0.12	2	0.01	14	0.10	200	1.48	66	240	1.78	
計	39~49	1	0.03	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	16	0.50	11	17	0.53
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.09	1	0.04	20	0.86	16	23	0.99
	60~69	4	0.07	0	0.00	0	0.00	3	0.05	1	0.02	11	0.18	88	1.47	37	107	1.78
	70~79	16	0.18	2	0.02	1	0.01	12	0.13	3	0.03	19	0.21	164	1.82	40	217	2.41
	80~98	3	0.13	0	0.00	0	0.00	3	0.13	2	0.09	10	0.45	67	2.98	16	85	3.78
計	24	0.11	2	0.01	1	0.01	18	0.08	8	0.04	41	0.18	355	1.56	120	449	1.97	

¹ 有所見率:有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% ¹	% ²	発見率 ³	陽性反応の集中度 ⁴			
男性	施設検診	6,054	171	2.8	150	87.7	9	0.15	5.26
	集団検診	3,265	98	3.0	79	80.6	7	0.21	7.14
	計	9,319	269	2.9	229	85.1	16	0.17	5.95
女性	施設検診	7,896	161	2.0	154	95.7	3	0.04	1.86
	集団検診	5,575	141	2.5	126	89.4	5	0.09	3.55
	計	13,471	302	2.2	280	92.7	8	0.06	2.65
計	施設検診	13,950	332	2.4	304	91.6	12	0.09	3.61
	集団検診	8,840	239	2.7	205	85.8	12	0.14	5.02
	計	22,790	571	2.5	509	89.1	24	0.11	4.20
平成30年度全国		-	-	-	-	-	-	-	-

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の集中度:癌症例数/要精検者数×100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数は表 7 a に示すとおり、8,208 人、要精検率 5.0%、精検実施率は 98.5%である。

精検結果を表 7 b に示す。乳がん検診全体での有所見率は 4.29%で、主な所見の内訳は乳腺症 1.49%、線維腺腫 0.83%、乳癌 0.51%である。

表 7 c に示すとおり今年度新たに発見された乳癌は 42 例、乳癌発見率は 0.51%、陽性反応の中度は 10.24%である。

なお、厚生労働省の平成 30 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計は発表されていない。(令和 3 年 7 月 1 日時点)

検診状況別の乳癌発見率は施設検診 0.65%、集団検診 0.34%である。

表 7 乳がん検診

a 受診者数, 要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹		% ²	
39~49	1,862	139	7.5	138	99.3
50~59	1,146	57	5.0	56	98.2
60~69	2,185	96	4.4	94	97.9
70~79	2,602	105	4.0	104	99.0
80~91	413	13	3.1	12	92.3
計	8,208	410	5.0	404	98.5

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)	精検所見											有所見例数	
	乳癌		線維腺腫		乳腺症		乳頭腫		その他		正常		% ¹
	% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹				
39~49	5	0.27	26	1.40	53	2.85	0	0.00	36	1.93	37	120	6.44
50~59	5	0.44	13	1.13	17	1.48	0	0.00	21	1.83	11	56	4.89
60~69	12	0.55	13	0.59	28	1.28	0	0.00	33	1.51	21	86	3.94
70~79	19	0.73	16	0.61	22	0.85	0	0.00	30	1.15	31	87	3.34
80~84	1	0.24	0	0.00	2	0.48	0	0.00	0	0.00	9	3	0.73
計	42	0.51	68	0.83	122	1.49	0	0.00	120	1.46	109	352	4.29

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数 × 100

c 検診状況別に見た乳癌発見率

(単位:人)

検診状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳癌症例		
		% ¹		% ²		発見率 ³	陽性反応の中度 ⁴	
施設検診	4,649	235	5.1	230	97.9	30	0.65	12.77
集団検診	3,559	175	4.9	174	99.4	12	0.34	6.86
計	8,208	410	5.0	404	98.5	42	0.51	10.24
平成30年度全国	-	-	-	-	-	-	-	-

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(I) 子宮がん検診

子宮がん検診の対象者は20歳以上で、2年に1回受診することができる。表8 aに示すとおり、子宮がん検診の受診者は6,627人で、要精検率は1.1%、精検実施率は89.3%である。

精検結果を表8 bに示す。有所見率は0.74%で、主な所見の内訳は軽度異型上皮0.27%、中・高度異型上皮0.18%、子宮頸癌0.05%である。

表8 cに示すとおり今年度新たに発見された子宮頸癌は3例、子宮頸癌発見率0.05%、陽性反応的中度は4.00%である。

なお、厚生労働省の平成30年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計は発表されていない。(令和3年7月1日時点)

検診状況別の子宮癌発見率は、施設検診0.06%、集団検診0.03%である。

表8 子宮がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% ¹		% ²
20~29	115	4	3.5	4	100.0
30~39	225	5	2.2	4	80.0
40~49	1,231	26	2.1	22	84.6
50~59	933	13	1.4	11	84.6
60~69	1,792	13	0.7	13	100.0
70~79	2,040	9	0.4	9	100.0
80~90	291	5	1.7	4	80.0
計	6,627	75	1.1	67	89.3

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見例数	
	子宮頸癌		子宮頸癌以外の悪性腫瘍		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		
		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹		% ¹			% ¹
20~29	0	0.00	0	0.00	1	0.87	2	1.74	0	0.00	1	3	2.61
30~39	0	0.00	0	0.00	2	0.89	1	0.44	1	0.44	0	4	1.78
40~49	0	0.00	0	0.00	6	0.49	7	0.57	6	0.49	4	19	1.54
50~59	0	0.00	0	0.00	1	0.11	2	0.21	4	0.43	3	7	0.75
60~69	1	0.06	1	0.06	1	0.06	4	0.22	2	0.11	2	9	0.50
70~79	1	0.05	0	0.00	1	0.05	1	0.05	2	0.10	3	5	0.25
80~84	1	0.34	0	0.00	0	0.00	1	0.34	0	0.00	1	2	0.69
計	3	0.05	1	0.02	12	0.18	18	0.27	15	0.23	14	49	0.74

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た子宮頸癌発見率

(単位:人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子 宮 頸 癌 症 例		
			% ¹		% ²	発見率 ³	陽性反応的中度 ⁴	
施 設 検 診	3,618	39	1.1	37	94.9	2	0.06	5.13
集 団 検 診	3,009	36	1.2	30	83.3	1	0.03	2.78
計	6,627	75	1.1	67	89.3	3	0.05	4.00
平成30年度全国	-	-	-	-	-	-	-	-

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(オ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表 9 a に示すとおり、男性 7,231 人、女性 10,618 人、計 17,849 人である。要精検率は男性 14.4%、女性 11.9%、計 12.9%、精検実施率はそれぞれ 78.7%、83.1%、81.1%である。

精検結果は表 9 b に示すとおり、有所見率は男性 11.16%、女性 7.04%、計 8.71%である。主要所見の内訳は、腺腫 3.59%、非腫瘍性ポリープ 1.82%、大腸憩室 1.42%、大腸癌 0.21%である。

表 9 c のとおり今年度新たに発見された大腸癌症例(大腸癌と大腸癌以外の大腸悪性腫瘍の合計)は男性 19 例、女性 19 例、計 38 例である。大腸癌発見率は男性 0.26%、女性 0.18%、計 0.21%、陽性反応的中度はそれぞれ 1.82%、1.50%、1.65%である。

なお、厚生労働省の平成 30 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計は発表されていない。(令和 3 年 7 月 1 日時点)

表 9 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% ¹	% ²	% ¹	% ²		% ¹	% ²	% ¹	% ²					
39~49	764	70	9.2	53	75.7	1,918	177	9.2	133	75.1	2,682	247	9.2	186	75.3
50~59	576	77	13.4	55	71.4	1,477	144	9.7	125	86.8	2,053	221	10.8	180	81.4
60~69	1,986	247	12.4	195	78.9	3,039	351	11.5	300	85.5	5,025	598	11.9	495	82.8
70~79	3,105	472	15.2	381	80.7	3,496	468	13.4	402	85.9	6,601	940	14.2	783	83.3
80~97	800	177	22.1	137	77.4	688	123	17.9	89	72.4	1,488	300	20.2	226	75.3
計	7,231	1,043	14.4	821	78.7	10,618	1,263	11.9	1,049	83.1	17,849	2,306	12.9	1,870	81.1

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率:精検実施数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見													有所見例数			
		大腸癌		大腸癌以外の悪性腫瘍		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他		正常		
		% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹	% ¹		
男性	39~49	0	0.00	0	0.00	15	1.96	8	1.05	1	0.13	4	0.52	8	1.05	23	36	4.71
	50~59	0	0.00	0	0.00	15	2.60	15	2.60	1	0.17	7	1.22	8	1.39	15	46	7.99
	60~69	5	0.25	0	0.00	87	4.38	46	2.32	2	0.10	32	1.61	27	1.36	37	199	10.02
	70~79	8	0.26	0	0.00	175	5.64	82	2.64	1	0.03	68	2.19	56	1.80	65	390	12.56
	80~96	6	0.75	0	0.00	58	7.25	35	4.38	0	0.00	17	2.13	20	2.50	21	136	17.00
	計	19	0.26	0	0.00	350	4.84	186	2.57	5	0.07	128	1.77	119	1.65	161	807	11.16
女性	39~49	3	0.16	0	0.00	24	1.25	7	0.36	0	0.00	9	0.47	21	1.09	73	64	3.34
	50~59	1	0.07	0	0.00	30	2.03	15	1.02	1	0.07	10	0.68	29	1.96	50	86	5.82
	60~69	6	0.20	0	0.00	79	2.60	39	1.28	0	0.00	44	1.45	48	1.58	102	216	7.11
	70~79	9	0.26	0	0.00	133	3.80	53	1.52	1	0.03	52	1.49	55	1.57	132	303	8.67
	80~92	0	0.00	0	0.00	25	3.63	24	3.49	1	0.15	11	1.60	17	2.47	21	78	11.34
	計	19	0.18	0	0.00	291	2.74	138	1.30	3	0.03	126	1.19	170	1.60	378	747	7.04
計	39~49	3	0.11	0	0.00	39	1.45	15	0.56	1	0.04	13	0.48	29	1.08	96	100	3.73
	50~59	1	0.05	0	0.00	45	2.19	30	1.46	2	0.10	17	0.83	37	1.80	65	132	6.43
	60~69	11	0.22	0	0.00	166	3.30	85	1.69	2	0.04	76	1.51	75	1.49	139	415	8.26
	70~79	17	0.26	0	0.00	308	4.67	135	2.05	2	0.03	120	1.82	111	1.68	197	693	10.50
	80~96	6	0.40	0	0.00	83	5.58	59	3.97	1	0.07	28	1.88	37	2.49	42	214	14.38
	計	38	0.21	0	0.00	641	3.59	324	1.82	8	0.04	254	1.42	289	1.62	539	1,554	8.71

¹ 有所見率:有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大腸癌症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	陽性反応の集中度 ⁴	
男性	施設検診	5,255	734	14.0	580	79.0	10	0.19	1.36
	集団検診	1,976	309	15.6	241	78.0	9	0.46	2.91
	計	7,231	1,043	14.4	821	78.7	19	0.26	1.82
女性	施設検診	6,904	815	11.8	682	83.7	12	0.17	1.47
	集団検診	3,714	448	12.1	367	81.9	7	0.19	1.56
	計	10,618	1,263	11.9	1,049	83.1	19	0.18	1.50
計	施設検診	12,159	1,549	12.7	1,262	81.5	22	0.18	1.42
	集団検診	5,690	757	13.3	608	80.3	16	0.28	2.11
	計	17,849	2,306	12.9	1,870	81.1	38	0.21	1.65
平成30年度全国		-	-	-	-	-	-	-	-

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の集中度: 癌症例数/要精検者数×100

(カ) がん検診別に見たがん発見率と陽性反応の集中度

5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率・陽性反応の集中度を表10に示す。胃がん・肺癌・大腸がん・乳がん・子宮がんの発見率は0.25%、0.11%、0.21%、0.51%、0.05%、陽性反応の集中度はそれぞれ4.50%、4.20%、1.65%、10.24%、4.00%である。がん検診精度は良好と考える。

表10 がん検診別に見たがん発見率と陽性反応の集中度

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検実施者数		癌症例		
				% ¹		% ²	発見率 ³	陽性反応の集中度 ⁴	
男性	胃がん	5,510	402	7.3	346	86.1	20	0.36	4.98
	肺がん	9,319	269	2.9	229	85.1	16	0.17	5.95
	大腸がん	7,231	1,043	14.4	821	78.7	19	0.26	1.82
女性	胃がん	7,284	309	4.2	283	91.6	12	0.16	3.88
	肺がん	13,471	302	2.2	280	92.7	8	0.06	2.65
	大腸がん	10,618	1,263	11.9	1,049	83.1	19	0.18	1.50
	乳がん	8,208	410	5.0	404	98.5	42	0.51	10.24
	子宮がん	6,627	75	1.1	67	89.3	3	0.05	4.00
計	胃がん	12,794	711	5.6	629	88.5	32	0.25	4.50
	肺がん	22,790	571	2.5	509	89.1	24	0.11	4.20
	大腸がん	17,849	2,306	12.9	1,870	81.1	38	0.21	1.65
	乳がん	8,208	410	5.0	404	98.5	42	0.51	10.24
	子宮がん	6,627	75	1.1	67	89.3	3	0.05	4.00

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の集中度: 癌症例数/要精検者数×100

(キ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市の独自の施策として平成7年10月より開始された(平成16年4月からの検診対象者は、男性では40歳以上、女性では20歳以上の5歳刻み)。

受診者の内訳は表11に示すとおりで、男性1,218人、女性2,236人、計3,454人であり、女性が多い。骨量の「異常あり」と判定された有所見率は、男性40.6%、女性63.5%、全体で55.4%と高率である。

表11 骨粗鬆症検診

(単位：人)

性	年齢 (歳)	受診者数	測定結果				計	% ¹
			異常なし	要指導	要精検査			
男 性	40・45	67	45	22	0	22	32.8	
	50・55	61	36	21	4	25	41.0	
	60・65	181	104	59	18	77	42.5	
	70・75	706	435	219	52	271	38.4	
	80・85・90・95	203	103	72	28	100	49.3	
	計	1,218	723	393	102	495	40.6	
女 性	25・30・35・40・45	293	223	66	1	67	22.9	
	50・55	288	186	86	16	102	35.4	
	60・65	497	170	248	79	327	65.8	
	70・75	970	203	504	263	767	79.1	
	80・85・90・95	188	32	78	78	156	83.0	
	計	2,236	814	982	437	1,419	63.5	
計	25・30・35・40・45	360	268	88	1	89	24.7	
	50・55	349	222	107	20	127	36.4	
	60・65	678	274	307	97	404	59.6	
	70・75	1,676	638	723	315	1,038	61.9	
	80・85・90・95	391	135	150	106	256	65.5	
	計	3,454	1,537	1,375	539	1,914	55.4	

¹ 所見率：「要指導」「要精検査」例数/受診者数×100

(注)平成27年度より、測定結果を「減少なし・軽度・中等度・高度」から変更

(ク) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

受診者数は表12aのとおりで、男性6,974人、女性8,286人、計15,260人であり、年齢別では男性、女性とも70歳代が多い。区別の受診者数では、表12bに示すように、安佐北区が最も多く、ついで安佐南区、南区、佐伯区の順である。要精検率は表12cのとおり男性2.0%、女性1.5%、計1.8%である。

表12 結核健診

a 受診者数

年齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
64～69	1,700	24.4	2,300	27.8	4,000	26.2
70～79	4,144	59.4	4,870	58.7	9,014	59.1
80～98	1,130	16.2	1,116	13.5	2,246	14.7
計	6,974	100.0	8,286	100.0	15,260	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区分	男性		女性		計	
		%		%		%
中区	715	10.3	949	11.5	1,664	10.9
東区	821	11.8	975	11.8	1,796	11.8
南区	906	12.9	1,148	13.9	2,054	13.4
西区	894	12.8	1,030	12.4	1,924	12.6
安佐南区	1,028	14.7	1,228	14.8	2,256	14.8
安佐北区	1,148	16.5	1,285	15.5	2,433	15.9
安芸区	555	8.0	598	7.2	1,153	7.6
佐伯区	907	13.0	1,073	12.9	1,980	13.0
計	6,974	100.0	8,286	100.0	15,260	100.0

c 要精検率

(単位：人)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
64～69	1,700	30	1.8	2,300	29	1.3	4,000	59	1.5
70～79	4,144	83	2.0	4,870	71	1.5	9,014	154	1.7
80～98	1,130	28	2.5	1,116	27	2.4	2,246	55	2.4
計	6,974	141	2.0	8,286	127	1.5	15,260	268	1.8

エ 健康管理資料の整備

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を整理、保管した。

(3) 当センターで発見した悪性新生物症例

当センターではがん検診の一次検診だけでなく、消化管内視鏡・超音波・CT・MRI等の検査機器を使用しがん検診の精密検査医療機関としても機能しており、人間ドック受診者や他施設のがん検診受診者の中で要精検となった方々の精密検査も行っている。また健診で自覚症状より精密検査を行い発見しえた癌症例もある。それらの症例を表13当センターで発見した悪性新生物症例として示す。

表13 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	病名	No.	年齢	性別	病名
1	66	M	肺 癌	*61	77	M	早 期 胃 癌
2	67	M	肺 癌	62	77	M	早 期 胃 癌
3	71	M	肺 癌	*63	77	M	早 期 胃 癌
4	71	M	肺 癌	64	78	M	早 期 胃 癌
5	71	M	肺 癌	*65	80	M	早 期 胃 癌
6	72	M	肺 癌	66	81	M	早 期 胃 癌
*7	73	M	肺 癌	67	82	M	早 期 胃 癌
8	74	M	肺 癌	68	83	M	早 期 胃 癌
9	74	M	肺 癌	69	84	M	早 期 胃 癌
10	74	M	肺 癌	70	86	M	早 期 胃 癌
*11	75	M	肺 癌	71	86	M	早 期 胃 癌
*12	75	M	肺 癌	72	70	F	早 期 胃 癌
13	75	M	肺 癌	73	71	F	早 期 胃 癌
14	75	M	肺 癌	74	73	F	早 期 胃 癌
15	75	M	肺 癌	*75	76	F	早 期 胃 癌
16	76	M	肺 癌	76	77	F	早 期 胃 癌
*17	77	M	肺 癌	77	77	F	早 期 胃 癌
*18	77	M	肺 癌	78	79	F	早 期 胃 癌
19	77	M	肺 癌	79	80	F	早 期 胃 癌
20	77	M	肺 癌	*80	82	F	早 期 胃 癌
21	78	M	肺 癌	81	83	F	早 期 胃 癌
22	78	M	肺 癌	82	85	F	早 期 胃 癌
23	79	M	肺 癌	83	54	M	進 行 胃 癌
24	80	M	肺 癌	84	66	M	進 行 胃 癌
25	81	M	肺 癌	85	67	M	進 行 胃 癌
26	81	M	肺 癌	86	68	M	進 行 胃 癌
*27	81	M	肺 癌	*87	73	M	進 行 胃 癌
*28	81	M	肺 癌	*88	75	M	進 行 胃 癌
29	82	M	肺 癌	89	75	M	進 行 胃 癌
30	41	F	肺 癌	90	82	M	進 行 胃 癌
31	42	F	肺 癌	91	62	F	進 行 胃 癌
32	46	F	肺 癌	92	67	F	進 行 胃 癌
33	52	F	肺 癌	93	70	F	進 行 胃 癌
34	63	F	肺 癌	94	73	F	進 行 胃 癌
35	64	F	肺 癌	95	81	F	進 行 胃 癌
36	67	F	肺 癌	96	83	F	進 行 胃 癌
37	70	F	肺 癌	97	87	F	進 行 胃 癌
38	72	F	肺 癌	98	82	M	胃 MALToma
*39	73	F	肺 癌	99	61	M	進 行 食 道 癌
40	75	F	肺 癌	100	61	M	進 行 食 道 癌
41	78	F	肺 癌	101	75	M	進 行 食 道 癌
*42	78	F	肺 癌	102	67	F	進 行 食 道 癌
*43	84	F	肺 癌	103	73	M	早 期 結 腸 癌
*44	90	F	肺 癌	104	74	M	早 期 結 腸 癌
45	42	F	平 滑 筋 肉 腫	105	82	M	早 期 結 腸 癌
46	47	M	早 期 胃 癌	106	86	M	早 期 結 腸 癌
47	51	M	早 期 胃 癌	*107	87	M	早 期 結 腸 癌
48	64	M	早 期 胃 癌	108	40	F	早 期 結 腸 癌
49	65	M	早 期 胃 癌	109	61	F	早 期 結 腸 癌
50	67	M	早 期 胃 癌	110	67	F	早 期 結 腸 癌
51	69	M	早 期 胃 癌	111	68	F	早 期 結 腸 癌
52	69	M	早 期 胃 癌	112	71	F	早 期 結 腸 癌
53	72	M	早 期 胃 癌	113	72	F	早 期 結 腸 癌
54	72	M	早 期 胃 癌	*114	77	F	早 期 結 腸 癌
55	72	M	早 期 胃 癌	*115	79	F	早 期 結 腸 癌
56	75	M	早 期 胃 癌	*116	84	F	早 期 結 腸 癌
57	75	M	早 期 胃 癌	*117	85	F	早 期 結 腸 癌
*58	76	M	早 期 胃 癌	*118	81	M	早 期 結 腸 癌
59	76	M	早 期 胃 癌	*119	81	M	早 期 結 腸 癌
60	77	M	早 期 胃 癌	*120	88	M	早 期 結 腸 癌

No.	年齢	性別	病名
*121	88	M	早期結腸癌
122	64	M	早期結腸癌
123	70	M	早期結腸癌
124	65	M	早期結腸癌
125	68	M	早期結腸癌
126	69	M	早期結腸癌
127	69	M	早期結腸癌
128	72	M	早期結腸癌
129	77	M	早期結腸癌
130	77	M	早期結腸癌
*131	80	M	早期結腸癌
*132	82	M	早期結腸癌
133	85	M	早期結腸癌
134	83	M	進行結腸癌
135	88	M	進行結腸癌
136	42	F	進行結腸癌
137	48	F	進行結腸癌
138	59	F	進行結腸癌
139	61	F	進行結腸癌
140	64	F	進行結腸癌
141	67	F	進行結腸癌
142	71	F	進行結腸癌
143	72	F	進行結腸癌
144	72	F	進行結腸癌
145	73	F	進行結腸癌
146	74	F	進行結腸癌
147	74	F	進行結腸癌
*148	76	F	進行結腸癌
*149	77	F	進行結腸癌
*150	77	F	進行結腸癌
*151	84	F	早期直腸癌
152	71	M	早期直腸癌
153	71	M	早期直腸癌
*154	75	M	早期直腸癌
155	81	M	早期直腸癌
*156	87	M	早期直腸癌
157	70	F	早期直腸癌
*158	86	F	早期直腸癌
*159	78	M	多発性骨髄腫
*160	79	M	多発性骨髄腫
*161	83	M	多発性骨髄腫
*162	84	M	多発性骨髄腫
*163	86	M	多発性骨髄腫
*164	87	M	多発性骨髄腫
*165	76	F	多発性骨髄腫
*166	77	F	多発性骨髄腫
*167	80	F	多発性骨髄腫
*168	84	F	多発性骨髄腫
*169	91	F	多発性骨髄腫
*170	94	F	多発性骨髄腫
*171	96	F	多発性骨髄腫
172	40	F	乳癌
173	41	F	乳癌
174	42	F	乳癌
175	42	F	乳癌
176	46	F	乳癌
177	47	F	乳癌
178	48	F	乳癌
179	48	F	乳癌
180	48	F	乳癌
181	50	F	乳癌
182	51	F	乳癌
183	53	F	乳癌
184	53	F	乳癌
185	54	F	乳癌

No.	年齢	性別	病名
186	59	F	乳癌
187	59	F	乳癌
188	59	F	乳癌
189	60	F	乳癌
190	60	F	乳癌
191	60	F	乳癌
192	60	F	乳癌
193	60	F	乳癌
194	62	F	乳癌
195	63	F	乳癌
196	63	F	乳癌
197	64	F	乳癌
198	65	F	乳癌
199	65	F	乳癌
200	66	F	乳癌
201	66	F	乳癌
202	66	F	乳癌
203	68	F	乳癌
204	68	F	乳癌
205	68	F	乳癌
206	68	F	乳癌
207	69	F	乳癌
208	70	F	乳癌
209	70	F	乳癌
210	70	F	乳癌
211	71	F	乳癌
212	71	F	乳癌
213	72	F	乳癌
214	72	F	乳癌
215	72	F	乳癌
216	73	F	乳癌
*217	74	F	乳癌
218	74	F	乳癌
219	74	F	乳癌
220	74	F	乳癌
221	74	F	乳癌
*222	76	F	乳癌
*223	77	F	乳癌
224	77	F	乳癌
225	77	F	乳癌
226	77	F	乳癌
*227	78	F	乳癌
228	78	F	乳癌
229	78	F	乳癌
*230	79	F	乳癌
231	79	F	乳癌
232	79	F	乳癌
233	79	F	乳癌
234	84	F	乳癌
235	70	F	子宮頸癌
236	82	F	子宮頸癌
237	65	F	子宮癌
238	66	F	卵巣癌
*239	77	M	膀胱癌
240	80	M	膀胱癌
241	76	F	腓尾部癌
242	52	F	腓神経内分泌腫瘍
243	64	M	甲状腺癌
244	62	F	甲状腺癌
245	72	F	甲状腺癌

[No.118・No.119][No.120・No.121]は重複癌で同一症例

*付きの番号の症例は被爆者

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の継続実施

被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、平成 29 年以前に実施したものに加えて、平成 30 年度に新たに着手した次の 5 項目の研究を引き続き行い、その成果は関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表した。

- ・加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ・健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ・高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ・高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ・中高年者における非空腹時脂質値に関する横断ならびに後向きコホート調査

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。

(3) 原子爆弾後障害研究会での発表

令和 2 年 6 月 7 日(日)、長崎原爆資料館において「第 61 回原子爆弾後障害研究会」が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止となった。

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談

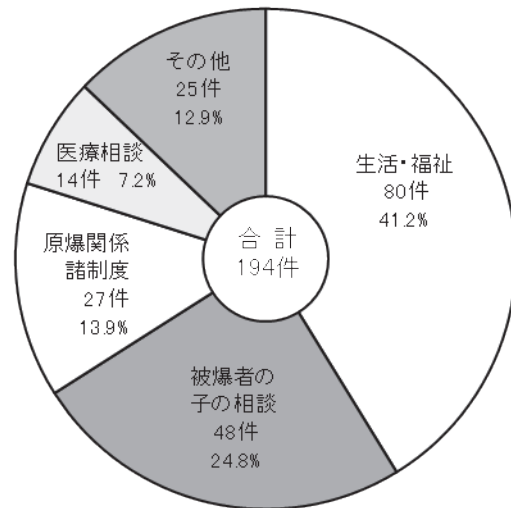
昭和36年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和42年7月専任相談員を配置し、昭和53年11月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

開設以来の相談件数及び令和2年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

年度	件数(件)	年度	件数(件)	年度	件数(件)
昭和36	51	平成元	4,530	29	288
37	29	2	4,074	30	263
38	19	3	4,183	令和元	233
39	30	4	3,525	2	194
40	46	5	3,451		
41	68	6	3,482		
42	240	7	3,512		
43	334	8	3,576		
44	465	9	3,393		
45	626	10	3,758		
46	910	11	2,911		
47	626	12	3,414		
48	507	13	2,817		
49	568	14	2,572		
50	871	15	2,522		
51	1,241	16	2,455		
52	1,746	17	2,084		
53	2,566	18	576		
54	3,174	19	625		
55	2,319	20	566		
56	3,676	21	601		
57	3,057	22	503		
58	2,852	23	414		
59	2,660	24	394		
60	3,283	25	371		
61	3,086	26	323		
62	3,454	27	337		
63	5,333	28	301		

令和2年度の被爆者相談の状況



※平成18年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

(2) 被爆者の援護措置

本会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被爆者援護金：被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額10,000円を支給する。
- イ 被爆身障者等見舞金：夏季と年末の年2回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- ウ 福祉用具貸与・購入費補助：住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。
- エ その他の補助：以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

令和2年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

令和2年度援護費の支給内容

種 別	人 員 (人)	支 給 額 (円)
被爆身体障害者等見舞金	19	160,000
福祉用具貸与・購入費補助	253	2,533,000
合 計	272	2,693,000

4 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子供から高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

令和2年2月29日から5月30日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となった。

(1) 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子供から大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

ア 年間利用者数 7,518人

令和2年度健康科学館利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数	0	21	511	819	960	758	872	960	295	107	936	1,279	7,518
大人 (人)	0	10	281	435	488	425	586	610	197	60	532	738	4,362
小人 (人)	0	4	61	100	142	87	54	96	17	19	99	144	823
幼児 (人)	0	7	169	284	330	246	232	254	81	28	305	397	2,333
トータルモニター (人)	0	6	87	152	221	127	107	196	44	58	172	232	1,402
上映回数 (回)	0	4	100	100	104	92	108	92	96	92	88	100	976
研修会議室 (人)	0	0	17	100	172	61	288	202	65	0	143	183	1,231
視察・見学 (回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主催事業 (回)	0	0	2	8	9	4	12	8	2	0	5	6	56
共催事業 (回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ上映 (回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康ライブ (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つどいの広場 (人)	0	0	201	294	275	331	352	224	127	0	375	506	2,685
大人 (人)	0	0	104	151	139	179	191	123	68	0	205	264	1,424
幼児 (人)	0	0	97	143	136	152	161	101	59	0	170	242	1,261

イ 企画展の開催 年3回

令和2年度企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数	観覧者数 (人)			
			大人	小人	幼児	合 計
みんなで笑って健康 WA・HA・HA	令和2年5月31日～11月8日	132	2,421	503	1,386	4,310
うんちのうんちく しっかり聞こう 腸からのお便り	令和2年11月14日～令和3年3月7日	88	1,333	210	630	2,173
体を守る小さな戦士 免疫力のレベルを上げよ	令和3年3月13日～令和3年7月11日	15	507	105	239	851
合 計		235	4,261	818	2,255	7,334

ウ パネル展 年12回

(2) 健康ライブラリーの運営

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため閉鎖。

(3) 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント 年 34回 参加者 514人
- ・他の関係機関との共催による研修会 年 1回 参加者 0人

(4) ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成講座（6課程） 年 1回
- ・ボランティアの育成講座 年 1回
- ・ボランティアの活動事業 年 161回

(5) 広報活動（TV・ラジオ取材等） 開催数 79回

(6) 展示物・資料等貸出 3回

5 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業

(1) 被爆者や市民の健康診断の結果、悪性疾患等が疑われた場合には、確定診断や病期判定のために詳細な検査（CT・MRI・内視鏡・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進めた。

また、広島市医師会からの依頼による生体検査（CT・MRI・内視鏡検査・X線撮影等）を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進した。

(2) 事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等の健診を実施した。健診結果に基づいて生活習慣の見直し等を指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病を早期に発見し、早期治療ができるように健診活動を行った。

＜実施件数＞	人間ドック健診	1,821件
	生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,255件
	事業所健診	3,361件
	ストレスチェック	687件

管理栄養士・健康運動指導士が受診者一人ひとりに適した運動・栄養について指導・助言を行い、市民の健康の維持・増進を図った。

＜実施件数＞	栄養サポート・運動サポート	178件
	健康サポート	45件

6 その他目的達成に必要な事業

(1) 子育て支援事業

ア ファミリー・サポート・センターの運営

保護者の急な用事や残業の際の預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

(7) 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 3,175 人（提供会員：357 人 依頼会員：2,768 人 両方会員：50 人）

【令和3年3月31日現在】

(4) 援助活動の調整

マッチング件数 635 件

(ウ) 提供会員登録講習会（援助活動に必要な知識の普及）（年1回10月）

(エ) 会員同士の交流会 0 回

(オ) 会員講習会 3 回

(カ) 機関誌の発行 1 回

イ つどいの広場の運営

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

(7) 常設のつどいの場の提供

(4) 子育てに関する相談援助

(ウ) 子育て関連情報の提供

(エ) 子育て等に関する講習会の開催 年24回

(オ) 利用者数 2,685 人（大人1,424人 幼児1,261人）

ウ パパとママの育児教室の運営

夫婦が協力して子育てを行うために、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図った。

プレパパママ育児スクール 年13回、参加者450人

(2) 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

ア 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

(7) 被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等研修生を受け入れていたが、令和2年度医師等受入研修事業が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

(4) 令和3年2月11日にオンラインで開催された「被爆75年・HICARE設立30年・福島10年国際シンポジウム」で、健康管理・増進センター前田亮所長がシンポジウムの座長を務めた。

イ 来日原爆被曝者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被曝者への援助を引き続き行った。

7 令和2年研究業績

(1) 学会発表

第59回日本消化器がん検診学会総会（9月30日～10月1日、Web開催）

- ・品川祐樹：当センターの大腸CT検査の現状と課題

(2) 講演会等

第88回薬剤業務研修会（1月18日、広島市）

- ・上野義隆：慢性便秘症に関する最近の話題

クローン病 講演会・相談会（1月24日、広島市）

- ・上野義隆：クローン病との付き合い方・日常生活の過ごし方

健康科学館での講座の実施（6月12日、広島市）

- ・芳上将：代謝UPで脂肪にサヨナラ！～筋トレ・ピラティスを中心に～

広島大学での講座の実施（6月18日、web開催）

- ・前田亮：医学からみた戦争と平和～原爆被爆者の健康と課題～

健康科学館での講座の実施（6月19日、広島市）

- ・芳上将：インナーマッスル（深層筋）を鍛えて代謝UP！

広島県西部地区UCセミナー（9月16日、廿日市市）

- ・上野義隆：直腸炎型潰瘍性大腸炎における診療のTopics

クローン病適応追加10周年記念講演会 in 中四国（10月3日、Web開催）

- ・上野義隆：クローン病における生物学的製剤の役割

健康科学館でのパパのための子育て実践講座の実施（10月18日、広島市）

- ・芳上将：家でできる親子ふれあい遊び～遊びながらパパも筋トレ～

健康科学館でのヘルスサポーター養成・育成講座（11月17日、広島市）

- ・佐々木伸夫：血压管理で予防できる生活習慣病

健康科学館でのヘルスサポーター養成・育成講座（11月18日、広島市）

- ・芳上将：生活習慣病予防には運動が必要！

第64回 安佐消化器病フォーラム（12月10日、広島市）

- ・上野義隆：クローン病の病態と治療に関する最新の話

健康科学館での講座の実施（12月11日、広島市）

- ・上野義隆：しっかり聞こう腸からのお便り～病気のサインを見逃すな

(3) 論文

- ・Yoshitaka Ueno, Shinji Tanaka.

How do we survey IBD in Japan: chromoendoscopy versus white light?

Endoscopy International Open 8:1018-1020, 2020

- ・Sasaki N, Yamamoto H, Ozono R, Maeda R, Kihara Y. Association of common carotid artery measurements with N-terminal pro B-type natriuretic peptide in elderly participants. Intern Med. 2020;59(7):917-925.

- ・Sasaki N, Ozono R, Higashi Y, Maeda R, Kihara Y. Association of insulin resistance, plasma glucose level, and serum insulin level with hypertension in a population with different stages of impaired glucose metabolism. J Am Heart Assoc. 2020;9(7):e015546.

- Sasaki N, Yamamoto H, Ozono R, Maeda R, Kihara Y. Sleeping Difficulty and Subjective Short Sleep Duration are Associated with Serum N-terminal Pro-brain Natriuretic Peptide Levels in the Elderly Population. Intern Med. 2020;59(18):2213-2219.
- Sasaki N, Ozono R, Maeda R, Higashi Y. Risk of hypertension in middle-aged and elderly participants with newly diagnosed type 2 diabetes and prediabetes. BMJ Open Diabetes Res Care. 2020;8(1):e001500.

著書

上野義隆、田中 信治、前田 亮：「孤立性直腸潰瘍症候群」日本臨牀 消化管症候群（第3版）p172-175、日本臨牀社 東京 2020.

上野義隆、田中 信治：「慢性便秘症の診断手順と検査」ポリエチレングリコール製剤による慢性便秘症治療のストラテジーp40-43、先端医学社 東京 2020

Ⅶ 資 料

1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）

広島市「原爆被爆者対策事業概要」より

（各年度末、単位：人）

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
昭和 32	74,610	32,342	106,952
33	79,400	36,531	115,931
34	82,476	38,611	121,087
35	82,831	43,713	126,544
36	87,752	48,716	136,468
37	92,796	51,153	143,949
38	93,608	51,014	144,622
39	93,393	53,113	146,506
40	92,911	57,204	150,115
41	95,627	64,768	160,395
42	94,975	71,574	166,549
43	92,921	75,987	168,908
44	91,389	77,442	168,831
45	90,336	81,233	171,569
46	92,090	80,881	172,971
47	108,764	66,812	175,576
48	108,690	66,624	175,314
49	114,411	62,874	177,285
50	114,542	65,219	179,761
51	113,384	66,253	179,637
52	112,738	66,699	179,437
53	111,811	67,228	179,039
54	110,717	67,799	178,516
55	109,612	68,356	177,968
56	108,870	68,211	177,081
57	108,208	68,208	176,416
58	107,093	67,550	174,643
59	113,885	59,322	173,207
60	112,871	58,856	171,727
61	111,433	58,121	169,554
62	110,392	57,580	167,972
63	109,118	57,046	166,164
平成元	107,459	56,250	163,709
2	105,599	55,579	161,178
3	103,818	54,889	158,707
4	101,939	53,958	155,897
5	100,188	52,851	153,039
6	98,473	51,844	150,317
7	96,929	50,766	147,695
8	95,260	49,630	144,890
9	93,637	48,577	142,214
10	91,940	47,173	139,113
11	90,184	45,451	135,635
12	88,592	44,367	132,959
13	86,779	43,246	130,025
14	85,065	41,995	127,060
15	83,732	40,739	124,471
16	81,649	39,427	121,076
17	80,509	37,381	117,890
18	78,111	35,987	114,098
19	75,642	34,561	110,203
20	73,388	33,027	106,415
21	71,194	31,619	102,813
22	68,886	30,498	99,384
23	66,660	28,926	95,586
24	64,302	27,388	91,690
25	61,666	25,954	87,620
26	58,933	24,434	83,367
27	56,174	22,818	78,992
28	53,340	21,286	74,626
29	50,384	19,836	70,220
30	47,632	18,393	66,025
令和元	44,836	16,959	61,795
2	42,191	15,616	57,807

2 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置(更新)	12,915,000	4,916,000
22	全自動電気泳動装置(更新)	10,263,235	4,028,235
合 計		1,521,002,235	713,339,235

3 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置配慮	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

5 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	411,917,521	101,303,000

6 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	458,799,521	119,673,520

7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	-	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	-	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000

14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
22	813,080	0	813,080
23	765,000	0	765,000
24	785,000	0	785,000
25	810,000	0	810,000
26	835,000	0	835,000
27	850,000	0	850,000
28	800,000	0	800,000
29	752,200	50,000	802,200
30	700,000	0	700,000
令和元	620,000	0	620,000
2	655,000	0	655,000
合計	57,112,200	19,515,491	76,627,691

8 全国から寄せられた寄付金

(資料7再掲、敬称略)

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
昭和29	239,486円	39件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK 一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術人展, 岸英一, 毛利典攬, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ビカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804円	38件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 養○豊子外 24名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍相起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819円	98件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨城県取手第○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年 D 組ひいらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎迫彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684円	21件	大森シゲ, 山田○○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316円	50件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
34	575,892 円	32 件	東町連合子供クラブ一同、川崎市東芝〇附工、段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三、野口あき、東京電気大学〇〇学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・〇川〇〇、屋代小・中学校・戸倉中学校、匿名、広島県〇〇〇・吉本勝・浜田カヨ子、山田千恵子、高橋昭博、杉渕徳治、山田千恵子、河野次郎・県教職組合・乃美小学校 6 年〇組、〇尾富美子、浜田加代子、土肥邦雄、三村典子、松下和義
35	78,957 円	17 件	丸本杏男、山田千恵子、日本むつみ会、山田千恵子、奈良県一〇人、山田千恵子、吉岡隆夫、神戸市親和高校グループ、日本むつみ会老生、山田千恵子、金沢兼之助、東京福祉協会理事小祝昌弘、四人の女月光仮面、一読者、愛知トマト KK 他 7 社、日本むつみ会老生、(匿名)、大阪一女性、匿名者、田口正治、グレチエン・タットヒル、古賀和紀、グレチエン・タットヒル、金光教群馬県西部連合会、藤村弘、全日労組合広島地方会議組合員、篠村つる子、香川県千羽鶴運動実行委員会、イタリア生、(匿名)、浦辺和美外三名、徳竹道生外一名
36	1,935,402 円	30 件	広島予研支所匿名、広島予研支所匿名、アーサー・マリー・アイビンダー、赤松鉄也、赤松鉄也、匿名、篠村つる子、金子健次郎、大阪 K.E.氏、匿名、匿名、山田千恵子、山田千恵子、森新一、山田千恵子、原水爆禁止大川市協議会長古賀清治、広島県競輪選手会
37	140,129 円	19 件	紺野光吉、紺野光吉、日本原水爆被災者救援協会代表富井令子、石田久子、山田キク、関つる、山蔭貫之、関つる、紺野光吉、日本電装労働組合、ルイス・カヴレル、匿名、匿名 2 名、全大丸労働組合神戸支部、全国財務労働組合、紺野光吉、原田東岷、安佐郡長東地区婦人会長原田静枝、寺本典夫、佐藤富子、土井憲策、山崎君子、愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同、石川県立工業高等学校デザイン科有志、紺野光吉、原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング、紺野光吉、柿原幸二、小崎芳子、紺野光吉
38	210,638 円	23 件	紺野光吉・無名氏、三次中学校、三次町本通一子供会、紺野光吉・匿名、山田千恵子、小川亀三、日〇一社員外三氏匿名、紺野光吉・m.y.、清水芳郎、駒込学園一同、呉造船労組宮原地区家族会、日本司法書士会連合会総会出席者、東大教育学部高校一年 A 組、板木節夫、藤田正行、河原卓一、安永茂雄、日下部春一、岩滝宗雄
39	196,179 円	18 件	神戸市育英高等学校一年十組、中村勝弥、奥田光太郎、空調タイムス社代表取締役杉本英太郎、大歳盛明、志村寛一、ノートルダム清心高等学校三年生一同、山田千恵子、山田千恵子、徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫、般若太郎外七口、岡本稔雄・吉田町役場職員組合、村上春雄、ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団、日本高等学校教職員組合、中川シゲノ、山口親愛教会 S 氏、(匿名)、本間妙海、匿名、村上和輝、日赤東京都支部寄託、読売新聞社寄託
40	485,027 円	23 件	読売新聞社寄託 2 名、日赤東京都支部寄託、匿名、山田千恵子、中国新聞社会事業団寄託、政治経済研究会代表番匠朝昭、日本高等学校教職員組合代表磯本達則、中国新聞社会事業団寄託、土手和海外二名、原水爆禁止門〇市協議会会長東重太郎、金沢なでしこ会三人、金光教広島県連合会外二件、岐阜県立中津高等学校職員二学年一同、黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同、福島県石川実務学園長外三ヶ所、朝日新聞山口支局寄託、石川県立金沢高等学校二四ホーム一同、大〇七一
41	415,603 円	18 件	神戸新聞厚生事業団寄託、石川県金沢高等学校修学旅行団、パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻、中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同、〇生製作所労組、渋谷区代々木善明会教団、全国自動車産業労働組合連合会東海支部、山形県 16 歳学生、中島マチ、豊島区 S.K.、こばやし、塚本利光、大豊〇樹、尾川昭外七ヶ所、比和中学校福田部落会生徒、キリンビール労働組合広島工場支部長〇〇永〇〇、松岡洋子・岡本・玉置せき、東京電気大学高校普通科二年生一同、日本大学豊山学園友輪会、豊橋市時〇〇高校二年一組一同、豊川地方労働組合、〇田照夫、石本タケノ
42	503,278 円	21 件	喫茶ガーネット、小池静子外二名、県内に住む一女性、三宅千代子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則、善明会教団東京支部、セント・ジェルジ博士、右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名、東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒〇〇〇キリスト〇〇、大阪市旅行クラブ「浪花会」、国際協力及軍備に関するオーストラリアニュージャーランド委員会、吉田達雄、安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同、土井憲作、南千田ヘルスセンター、山本雅子、矢沢一民、旧普通科神〇高等学校一年三組
			川上ナルエ、堤健一郎、徳原スミ子、飯田商店外二者、杉山博康、小松修、神戸外大二部原水禁実行委員会一同、片山茂樹、法眼〇外五件、三次市栗原町婦人会外二件、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円、読売新聞社寄託、金洞海、山形 KO 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同、奈良県青龍寺小西妙淳、全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合、フランス人シャンボイゼ、新田修三、関川守彦、下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
43	451,958 円	20 件	日本高等学校教職員組合、長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武、日本火薬福山工場ダンス同好会一同、本田英郎、日本高等学校教職員組合、大口あさを、金井政吉、姫路市匿名、舟入本町商店街、広島市の者、藤井音次郎、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓、沖一成、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合、東海大学原子力教室、ビクターオート(株)広島営業所、酒井幸四郎、藤井音次郎、藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫、藤井音次郎、水木ナツ、藤井音次郎、小島静江、金井政吉、入田律子、舟入本通会、一老人、田中茂、新潟県十日町市原水爆禁止協議会、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一、日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫、桂雄一、徳山市蟻の会代表水木敏郎、鈴川寅二、ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩、鯉川クラブ、藤井音次郎、大園英彦、藤井音次郎、小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎、友広和夫、一匿名者、一匿名者、金井政吉、匿名の一少女、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一、藤井音次郎、神戸市職青年部神戸市葦合区役所・神戸市生田区役所有志、堀内登久子、新潟県十日町市原水爆禁止協議会、匿名者、湧井雅晴、小西清、高田和典、法政大学女子高校 1 年 F 組、岩室久一、横光利之、苫小牧西高等学校新聞局、明大附属中野中学校 2 年生、藤井音次郎、一市民、狩野重治、藤井音次郎、岡野チヨノ、八木千代、日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎、藤井音次郎、金井政吉、広島市無名氏、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、柴崎英治、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、三重県立紀南高等学校修学旅行団一同、藤井音次郎、今田稔穂、広島木工製材機械協会、森崎律子、藤井音次郎、広島市匿名氏、安佐ボール社長武智義則、広島市無名氏、藤井音次郎、藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子、藤井音次郎、松川宣正、松川宣正、広島市 Y 子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、下田工業株式会社広島支店長小野敏次、広島市無名氏、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、新谷五郎、松坂次男、藤井音次郎、原田東岷、飯田昭二、藤井音次郎、エア・ポートレーン支配人登勝志、広島市民無名氏、福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴、岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良、藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一、藤井音次郎、大高美代、岡儀造、日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之、下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次、原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平、藤井音次郎他、藤井音次郎、岡正造、藤井音次郎、甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹、藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ、足門ミドリ、日本高等学校教職員組合、広島市内原爆被爆者、原水爆禁止十日町市協議会、藤井音次郎、日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎、奥野ワカヨ、広島市原爆被爆者、市山律子、上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治、乙井ミツエ、愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典、広島市民被爆無名者、広島第一劇場代表取締役吉田尚行、広島木工製材機械協会会長金子堅一、西部浩子、日本高等学校教職員組合、関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫、榎倉利明、西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄、河野和夫、日本高等学校教職員組合、長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子、松上年雄、広島木工製材機械協会、東京の一学生、日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫、清水由紀子、高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作、浜井澄人、山口能弘、荒木邦男、山田春三、府中農協病院植田繁男、川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合、東洋工業 K.K. 監査部主管榎倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖、日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄、森崎利樹、藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子、山口大学平和キャラバン隊、日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄、巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信、山口大学ユネスコクラブ第 12 回平和キャラバン隊、花田実男、栃木県烏山女子高等学校三年一組一同、大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代、京極春子、山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊、原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美、ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬、日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会、大高美代、大熊開市、日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫、中野ツルエ、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大高美代、日本高等学校教職員組合、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市、大熊開市

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
22	813,080 円	1 件	日本高等学校教職員組合
23	765,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
24	785,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
25	810,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
26	835,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
27	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
28	800,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
29	802,200 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 広島市小児科医会長森美喜夫
30	700,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
令和元	620,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
2	655,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合

9 核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	糸編機6台、ラジオ1台	292,000
46	カラーテレビ1台、長イス11脚	237,000
47	フィルム保管庫5台	125,000
49	フィルム格納庫9台	251,000
50	スロンブレラストグラフ1台、糸編機4台	1,750,000
52	顕微鏡1台、糸編機3台	442,000
53	胃カメラ1台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ1台	1,300,000
55	眼底カメラ1式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ1台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ1台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ1台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ1台	1,115,000
60	オートプロジェクター1台、内視鏡格納棚1台、吸引器1台	915,000
61	ガストロファイバースコープ1台	1,300,000
62	顕微鏡2台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡1台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡1組、パルスオキシメーター1台	958,106
6	体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ1台、ゼリーウォーマー1台	893,550
22	電子スパイロメータ	999,600
24	多機能心電計	997,500
26	ホルター自動連続血圧計1式、電動昇降台2式、3クランクベッド プレグラースーパーマットレスベッドサイドレール1式	999,994
28	内視鏡洗浄消毒装置3台	1,499,040
30	全自動血圧計診之助Slim3台、ノンコンタクトタイプトノメーター1台	1,499,904
令和2	アトム診療ユニット EU-70α 湿式クスクウォーマー付/洗浄装置付1台、全自動身長体重計1台	1,499,300
合 計		38,259,169

※ ただし、平成6年度以降は、核兵器廃絶・平和建設広島県民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

10 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品

(単位：円)

年度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
	合 計	7,518,231

11 職員

(令和3年7月1日現在)

課・科名	職名	氏名
事務局	事務局長	和田 厚志
	総務課	課長 岡田 一彦
	経理課	課長 坪井 誠
	健康管理課	課長 岩見 寿美
健康管理・ 増進センター	所長	前田 亮
	副所長	上野 義隆
	部長	佐々木伸夫
	総合受付課	課長 上野 義隆
	総合健診科	部長 小島 純
	精密健診科	部長 佐々木伸夫
	放射線科	技師長 吉川 健
	ドック健診科	科長 平野 千尋
		課長 張本 和江
	検査科	(兼)技師長 岩見 寿美
	看護科	看護師長 細木 由美
健康科学館	館長	前田 育子
	管理課	(事)課長 前田 育子
	教育課	課長 田中 恵子

事業概要 令和3年（2021年）版

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目8番6号
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451(代表)

FAX 082-241-0414

URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>
